

金城学院大学学則

(1949年2月21日認可)
最終改正2026年4月1日施行

第1章 総則

(目的)

第1条 本学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的とする。

(自己評価)

第2条 本学は、前条の目的を達成するため、教育研究活動の点検及び評価を行う。

2 前項の点検及び評価の組織及び方法は、これを別に定める。

(名称)

第3条 本学は、金城学院大学と称する。

(所在地)

第4条 本学の所在地は、名古屋市守山区大森二丁目1723番地とする。

(学部・学科)

第5条 本学に、次の学部、学科及びコースを置く。

文学部	日本語日本文化学科 国際英語学科 総合歴史学科 音楽芸術学科
経営学部	経営学科
人間科学部	現代子ども教育学科 多元心理学科
デザイン工学部	建築デザイン学科 情報デザイン学科
生活環境学部	食環境栄養学科
看護学部	看護学科
薬学部	薬学科

(教育研究上の目的)

第5条の2 学部及び学科ごとの教育研究上の目的は、別表1のとおりとする。

(修業年限及び在学年限)

第6条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、薬学部薬学科は、6年とする。

2 在学年限は、8年を越えることができない。ただし、薬学部薬学科は、12年とする。

(学生定員)

第7条 本学各学部各学科の定員は、次のとおりとする。

学部学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文化学科	70名	280名
	国際英語学科	80名	320名
	総合歴史学科	60名	240名
	音楽芸術学科	35名	140名
	計	245名	980名
経営学部	経営学科	140名	560名
	計	140名	560名
人間科学部	現代子ども教育学科	100名	400名

	多元心理学科	110名	440名
	計	210名	840名
デザイン工学部	建築デザイン学科	80名	320名
	情報デザイン学科	110名	440名
	計	190名	760名
生活環境学部	食環境栄養学科	80名	320名
	計	80名	320名
看護学部	看護学科	100名	400名
	計	100名	400名
薬学部	薬学科	150名	900名
	計	150名	900名
	総計	1,115名	4,760名

第2章 学年、学期及び休業日

(学年、学期及び1年間の授業等の期間)

第8条 本学の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年は、次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月15日まで

後期 9月16日から翌年3月31日まで

3 1年間の授業等を行う期間は、35週間にわたることを原則とする。

(休業日)

第9条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(2) 日曜日

(3) 学院創立記念日(10月15日)

(4) 夏期休業日 8月1日から9月15日まで

(5) 冬期休業日 12月25日から翌年1月10日まで

(6) 学年末休業日 3月20日から3月31日まで

2 学長は、必要がある場合、第1項に定める休業日を変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定めることができる。

第3章 授業科目、単位数及び履修方法

(授業科目の区分)

第10条 授業科目は、共通教育科目、専門教育科目及び各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等に分ける。

2 前項に規定するもののほか、外国人である留学生(以下「外国人留学生」という。)に対して日本語科目及び日本事情に関する科目を開設する。

3 外国人留学生以外の学生で、本学が必要と認める場合には、前項を準用する。

(授業科目の科目名及び単位数)

第11条 授業科目の科目名及び単位数は、別表2のとおりとする。

(必修科目及び選択科目)

第12条 授業科目は、必修又は選択科目のいずれかであるものとする。

2 授業科目が必修であるか、選択であるかは、これを別に定める。

(副専攻)

第12条の2 本学に、副専攻を置くことができる。

2 副専攻に関して必要な事項は、これを別に定める。

(履修方法)

第13条 履修方法は、これを別に定める。

(卒業に必要な最低修得単位数)

第14条 卒業に必要な最低修得単位数は、別表3のとおりとする。

(授業の方法)

第14条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 卒業に必要な所定の単位数のうち、第2項に規定する授業の方法により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

(他大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第15条 教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがある。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項の規定の施行については、これを別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第16条 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることがある。

2 前項により与えることのできる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 前2項の規定の施行については、これを別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第17条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得したものを含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがある。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることがある。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第15条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 前3項の規定の施行については、これを別に定める。

(単位計算方法)

第18条 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの授業をもって1単位とする。ただし、文学部音楽芸術学科における個人指導による実技の授業については、5時間から8時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、教授会の議を経て、単位数を定めるものとする。

(教育職員免許状)

第19条 教育職員免許状の授与を受けようとする者は、教育職員免許法及び同関係諸法令に定められた単位を修得するものとする。

2 本学において取得できる教育職員免許状は、次のとおりとする。

区 分		免許状の種類	教 科
文学部	日本語日本文化学科	高等学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状	国語 書道 国語

	国際英語学科	高等学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状	外国語（英語） 外国語（英語）
	総合歴史学科	高等学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状	地理歴史 社会
	音楽芸術学科	高等学校教諭 1 種免許状 中学校教諭 1 種免許状	音楽 音楽
人間科学部	現代子ども教育学科	中学校教諭 1 種免許状 小学校教諭 1 種免許状 幼稚園教諭 1 種免許状	外国語（英語）
デザイン工学部	情報デザイン学科	高等学校教諭一種免許状	情報
生活環境学部	食環境栄養学科	栄養教諭 1 種免許状	
薬学部	薬学科	高等学校教諭 1 種免許状 中学校教諭 1 種免許状	理科 理科

3 前項の教育職員免許状を取得するための科目の履修方法は、これを別に定める。

（博物館学芸員資格）

第20条 博物館学芸員の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

第21条 削除

（図書館司書資格）

第22条 図書館司書の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（司書教諭資格）

第23条 司書教諭の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（二級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格）

第23条の2 二級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（管理栄養士受験資格及び栄養士免許）

第24条 管理栄養士受験資格及び栄養士免許証授与の所要資格を取得しようとする者は、別表4に示す授業科目を履修しなければならない。

2 管理栄養士国家試験受験及び栄養士免許申請に関する単位履修証明書は、別表5のとおりとする。

（食品衛生監視員資格）

第25条 食品衛生監視員の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（食品衛生管理者資格）

第26条 食品衛生管理者の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（保育士資格）

第27条 保育士の資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（精神保健福祉士受験資格）

第28条 精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（公認心理師受験資格）

第28条の2 公認心理師の受験資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目をあわせて履修するものとする。

（授業科目の配当及び授業時間数）

第29条 毎学年における科目の配当及び授業時間数は、教授会がこれを定める。

(開講科目・講義題目等)

第30条 毎学年の始めに、その学年に教授する科目の種類、講義題目、授業時間数、授業担当者を公示する。ただし、臨時講義については、教授会で随時これを定める。

(履修届)

第31条 学生は、毎学期の指定期限までに、履修する科目を選定し、届け出なければならない。

第4章 入学、再入学、退学、休学、編入学、転学、留学、賞罰及び除籍

(入学の時期)

第32条 入学の期日は、学年の始めとする。

(入学資格)

第33条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する女性でなければならない。

- (1) 高等学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (6) その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者

2 前項各号の定めにかかわらず、過去に第46条により懲戒を受けた者は、学長の判断により、本学への入学を認めないことがある。

(入学の許可)

第34条 本学に入学を許可される者は、所定の入学試験に合格した者に限る。

(再入学)

第35条 正当なる理由により退学した者が、再入学を志願したときは、選考の上これを許可することがある。

2 前項に定める再入学に関する規程は、これを別に定める。

3 第1項の定めにかかわらず、過去に第46条により懲戒を受けた者は、学長の判断により、再入学を認めないことがある。

(入学出願の手続き)

第36条 本学への入学を志願する者は、次の書類に別記に定める検定料を添えて、所定の期日までに願出しなければならない。

- (1) 本学所定の入学願書
- (2) 卒業又は卒業見込みに関する当該学校長の証明書
- (3) 在学中の当該学校長の調査書

(入学の手続き)

第37条 入学を許可された者は、本学所定の用紙に記入した、保証人連署の誓約書及び住民票に別記に定める入学金及びその他の所定の学納金を添えて、指定の期日までに提出しなければならない。

(保証人)

第38条 保証人は、独立の生計を営む満25歳以上の者で、確実に保証人の責務を履行し得る者でなければならない。

2 学長が不相当と認めた場合には、その変更を命ずることがある。

3 保証人が死亡又はその他の理由でその責務を果し得ないときは、新たに保証人を選定して、直ちに届け出なければならない。

4 保証人が転居した場合又は保証人を変更した場合は、直ちにその旨を届け出なければならない。

(退学)

第39条 退学しようとする者は、その理由を付して、保証人連署で願出しなければならない。

(休学)

第40条 病気又はその他の理由で引続き2カ月以上登校困難な者は、あらかじめその理由を付して、学長に願出で、その許可を得て休学することができる。ただし、入学初年次の前期については、

その理由が病気又は留学等の場合を除き休学は許可されない。

- 2 休学は、当該学期の授業開始11週間を経た後は、願い出ることができない。
- 3 休学は、1年以上にわたることができない。ただし、特別の事情のある者は、引続き許可することがある。
- 4 休学期間は通算して4年（薬学部薬学科においては6年）を超えることができない。
- 5 休学期間は、在学年数に通算しない。

（編入学）

第41条 次の各号の一に該当する者が本学への編入学を志願するときは、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 大学に2年以上在学して62単位以上を修得した者
 - (3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
 - (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有するものに限る。）
 - (5) 高等学校の専攻科の課程（ただし、修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- 2 前項各号の定めにかかわらず、薬学部への編入学を志願できるのは、薬学部又は薬学部と同等のカリキュラム内容を持つ学部にも所属し、3年以上在学した者とする。
 - 3 編入学者の入学以前の既修得単位の認定は、当該学部教授会においてこれを行う。
 - 4 第1項各号又は第2項の定めにかかわらず、過去に第46条により懲戒を受けた者は、学長の判断により、本学への編入学を認めないことがある。

（転学）

第42条 他の大学に転学を志願する者は、あらかじめその理由を付して学長に願い出て、その許可を得なければならない。

（転学部・転学科）

第43条 本学学生が、他の学部又は他の学科に、転学部又は転学科を志願したときは、選考の上これを許可することがある。

- 2 前項に定める転学部・転学科に関する規程は、これを別に定める。

（留学）

第44条 国内外の大学又は短期大学への留学を志願する者は、学長に願い出て、その許可を得て留学することができる。

- 2 前項による留学の期間は原則として1年以内とする。
- 3 前項の留学期間は在学年数に算入する。
- 4 前3項による留学に関する規程は、これを別に定める。

（賞罰）

第45条 他の学生の模範となる学生があったときは、これを表彰することがある。

第46条 本学の規則命令にそむき又は学生の本分に反する行為があったときは、その学生を懲戒する。

- 2 懲戒は訓告、停学及び退学とする。

第47条 次の各号の一に該当する者には、退学を命ずることがある。

- (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められた者
- (2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者
- (3) 正当な理由がなくて出席常ならない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した行為があった者

（除籍）

第48条 次の各号の一に該当する者は、除籍することがある。

- (1) 第6条に定める在学年限を超えた者
 - (2) 第40条第2項に定める休学の期間を超えてなお復学できない者
 - (3) 授業料及びその他の所定の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
 - (4) 長期間にわたって行方不明の者
 - (5) 在学中に死亡した者
- （学生身分に関する決裁）

第49条 入学、退学、休学、転学、賞罰及び除籍は、教授会の議を経て学長がこれを行う。

第5章 試験、卒業及び学位

(試験)

第50条 所定の科目の履修者に対して、試験を行う。試験は、筆記試験のほか、レポート、口頭試問等で行うことができる。

(成績評価)

第51条 各科目の試験等の結果は、A A、A、B、C及びFで評価し、A A、A、B及びCを合格とする。なお、評価に対する評点については、これを別に定める。

2 実際に行った授業回数数の3分の1以上欠席した場合は、失格とする。

(進級の要件)

第51条の2 学生が進級するために必要な要件は、別に定める。

(卒業の認定)

第52条 本学に4年（薬学部薬学科においては6年）以上在学し、所定の単位を修得した者には、卒業を認定する。

(学位)

第53条 本学を卒業した者には、金城学院大学学位規程の定めるところにより学士の学位を授与する。

第6章 授業料及びその他の学納金

(授業料等の学納金)

第54条 学生は、授業料及びその他の所定の学納金を納付しなければならない。

2 前項の授業料及びその他の所定の学納金の金額、納付方法、期日等は、第37条及び第55条から第57条並びに別記によるほか、これを別に定める。

第55条 既に納付した授業料及びその他の所定の学納金は、事情の如何にかかわらずこれを返却しない。

2 前項にかかわらず、第48条第5号により除籍された場合に限り、その学期分の授業料及びその他の所定の学納金は徴収しない。なお、納付が済んでいる場合は返却する。

(在籍料)

第56条 休学期間中は、授業料及びその他の所定の学納金に代えて在籍料を納付しなければならない。

2 授業開始8週間以内に休学を願い出た場合の当該学期の在籍料は、半期50,000円とする。

3 授業開始8週間を経た後、11週間以内に休学を願い出た場合の当該学期の在籍料は、授業料の半額相当額とする。

(在学料)

第56条の2 在学年数が4年（薬学部薬学科においては6年）を超える者、及び進級制限を受け同じ学年に留まる者は、授業料及びその他の所定の学納金に代えて在学料を納付しなければならない。

2 卒業要件又は進級要件上の不足単位数が9単位以内の者の在学料は、授業料の半額相当額とする。

3 前項以外の者の在学料は、授業料及びその他の所定の学納金と同額とする。

第57条 学期の途中で退学する者は、その学期分の授業料及びその他の所定の学納金を納付しなければならない。

第7章 職員組織

(職員)

第58条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員を置く。

2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

第58条の2 本学に副学長、学部長、教務部長及びその他必要な役職を置く。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

3 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

4 前各項のほか、その他必要な役職については、これを別に定める。

第8章 教授会

(教授会)

第59条 本学の各学部それぞれの教授会を置く。

2 各学部の教授会の運営についての規程は、これを別に定める。

第60条 各学部教授会は、次の事項を審議する。

- (1) 学則の改正
- (2) 教育課程に関する事項
- (3) 教員の人事に関する事項
- (4) 学生の入学、再入学、退学、休学、編入学、転学、留学、賞罰及び除籍に関する事項
- (5) 学生の試験、単位認定、卒業及び学位の授与に関する事項
- (6) 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生の取扱いに関する事項
- (7) その他教育研究に関する重要な事項

第60条の2 各学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業
- (2) 学位の授与
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

第9章 大学評議会

第61条 本学に、各学部共通する事項について審議する機関として、大学評議会を置く。

2 大学評議会についての規程は、これを別に定める。

第10章 科目等履修生、聴講生、外国人留学生及び特別聴講学生

(科目等履修生)

第62条 本学所定の授業科目のうち1科目又はそれ以上の科目の履修を志願する者があるときは、教授会において選考の上、科目等履修生としてその履修を認めることがある。

- 2 科目等履修生に対する単位の授与については、第50条及び第51条を準用する。
- 3 科目等履修生に関する規程は、これを別に定める。

(聴講生)

第63条 本学所定の授業科目のうち1科目又はそれ以上の科目の聴講を志願する者があるときは、教授会において選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

- 2 聴講生は定員外とする。
- 3 聴講生の単位修得は、これを認めない。
- 4 聴講生に関する規程は、これを別に定める。

(外国人留学生)

第64条 外国人で留学生として入学を志願する者があるときは、教授会において選考の上これを許可することがある。

- 2 外国人留学生にはこの学則の条項を準用する。
- 3 外国人留学生に関する規程は、これを別に定める。

(特別聴講学生)

第65条 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）との協議により、当該大学に在学中で本学の授業科目の履修を志願する者がある時は、教授会において選考の上、特別聴講学生としてこれを許可する。

- 2 特別聴講学生で聴講科目について試験に合格した者には、単位の修得を認定する。
- 3 特別聴講学生に関する規程は、これを別に定める。

第11章 図書館

(図書館)

第66条 本学に附属図書館を置く。

- 2 図書館に関する規程は、これを別に定める。

第12章 附置研究施設

(附置研究施設)

第67条 本学に附置研究施設を置く。

- 2 附置研究施設に関する規程は、これを別に定める。

第13章 附置相談室

(附置心理臨床相談室)

第68条 本学に附置心理臨床相談室を置く。

2 附置心理臨床相談室に関する規程は、これを別に定める。

第14章 学生寮

(学生寮)

第69条 本学に学生寮を置くことがある。

第15章 学則の改正

(学則の改正)

第70条 この学則の改正は、各学部教授会及び大学評議会の審議に基づき、理事会の議決を経てこれを行う。

附 則

この学則は、1949年2月21日から施行する。

附 則

この学則は、1952年4月18日から施行する。

附 則

この学則は、1954年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、1957年5月1日から施行する。

附 則

この学則は、1960年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1962年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1963年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1965年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1966年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1967年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1968年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1969年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1970年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1970年5月1日から施行する。

附 則

この学則は、1971年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1972年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1973年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1974年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1975年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1976年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1976年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、1977年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1978年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1978年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1979年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1980年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1981年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1982年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1983年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1984年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1985年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1986年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1987年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1988年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1989年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1990年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1991年（平成3年）4月1日から施行し、1991年度（平成3年度）入学者から適用する。ただし、第7条の規定にかかわらず、1991年度（平成3年度）から1999年度（平成11年度）までの入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名	入学定員	
文学部	国文学科	110名
	英文学科	110名
	社会学科	120名
	計	340名
家政学部	家政学科	100名
	児童学科	100名
	計	200名
	総計	540名

附 則

この学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、別表1-3及び第18条は、1990年4月入学者より適用する。

附 則

この学則は、1991年7月1日から施行する。

附 則

この学則は、1992年（平成4年）4月1日から施行し、1992年度（平成4年度）入学者から適用する。ただし、第7条及び前附則に規定の入学定員にかかわらず、1992年度（平成4年度）から1999年度（平成11年度）までの入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名	入学定員	
文学部	国文学科	110名
	英文学科	110名
	社会学科	120名
	計	340名
家政学部	家政学科	80名

生活経営学科	80名
児童学科	80名
計	240名
総計	580名

附 則

この学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1994年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、1996年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、1997年（平成9年）4月1日から施行し、1997年度（平成9年度）入学者から適用する。ただし、第7条及び前附則に規定の入学定員にかかわらず、1997年度（平成9年度）から1999年度（平成11年度）までの文学部、家政学部及び現代文化学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名	入学定員	
文学部	国文学科	110名
	英文学科	110名
	言語文化学科	70名
	計	290名
家政学部	家政学科	80名
	生活経営学科	80名
	児童学科	80名
	計	240名
現代文化学部	国際社会学科	75名
	情報文化学科	65名
	福祉社会学科	75名
	計	215名
	総計	745名

- 2 第5条及び第18条の規定にかかわらず、文学部社会学科は在学生在が卒業するまでのあいだ存続し、在学生の卒業を待って廃止する。なお、廃止までのあいだは、従前の学則の規定に従う。

附 則

- 1 この学則は、1998年（平成10年）4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、国文学科については、1998年（平成10年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 2 第7条及び前附則に規定の入学定員にかかわらず、1998年度（平成10年度）から1999年度（平成11年度）までの文学部、家政学部及び現代文化学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名	入学定員	
文学部	日本文学科	110名
	英文学科	110名
	言語文化学科	70名

	計	290名
家政学部	家政学科	80名
	生活経営学科	80名
	児童学科	80名
	計	240名
現代文化学部	国際社会学科	75名
	情報文化学科	65名
	福祉社会学科	75名
	計	215名
	総計	745名

附 則

- 1 この学則は、2000年（平成12年）4月1日から施行し、2000年度（平成12年度）入学者から適用する。ただし、第7条に規定の入学定員にかかわらず、2000年度（平成12年度）から2003年度（平成15年度）までの文学部、家政学部及び現代文化学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名		2000年度 （平成12年 度）	2001年度 （平成13年 度）	2002年度 （平成14年 度）	2003年度 （平成15年 度）
		入学定員	入学定員	入学定員	入学定員
文学部	日本文学科	98名	86名	80名	80名
	英文学科	104名	98名	86名	80名
	言語文化学科	70名	70名	70名	70名
	計	272名	254名	236名	230名
家政学部	家政学科	80名	80名	80名	76名
	生活経営学科	80名	80名	80名	76名
	児童学科	80名	80名	80名	76名
	計	240名	240名	240名	228名
現代文化学部	国際社会学科	75名	75名	75名	75名
	情報文化学科	65名	65名	65名	65名
	福祉社会学科	75名	75名	75名	75名
	計	215名	215名	215名	215名
総計		727名	709名	691名	673名

- 2 第10条第3項、第11条（教養教育科目のうち、○を付した科目に限る。）、第15条、第16条、第17条、第18条、第24条及び第37条は、2000年（平成12年）4月1日から在学学生全員に適用する。

附 則

この学則は、2001年4月1日から施行し、2001年度入学者から適用する。ただし、第19条第2項表中の現代文化学部情報文化学科の高等学校教諭1種免許状「情報」の普通免許状授与の所要資格を得させるための課程は、2000年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、2002年（平成14年）4月1日から施行し、2002年度（平成14年度）入学者から適用する。ただし、第7条に規定の入学定員にかかわらず、2002年度（平成14年度）から2003年度（平成15年度）までの文学部、生活環境学部及び人間科学部の入学定員及び2004年度（平成16年度）以降の各学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部学科名		2002年度 (平成14年度)	2003年度 (平成15年度)	2004年度 (平成16年度以降)	
		入学定員	入学定員	入学定員	
文学部	日本語日本文化学科	70名	70名	70名	
	英語英米文化学科	96名	90名	90名	
	言語文化学科	80名	80名	80名	
	計	246名	240名	240名	
生活環境学部	生活環境情報学科	90名	86名	80名	
	環境デザイン学科	90名	86名	80名	
	食環境栄養学科	80名	80名	80名	
	計	260名	252名	240名	
現代文化学部	国際社会学科	85名	85名	85名	
	情報文化学科	95名	95名	95名	
	福祉社会学科	85名	85名	85名	
	計	265名	265名	265名	
人間科学部	現代子ども学科	100名	96名	90名	
	心理学科	社会心理学専攻	60名	60名	60名
		臨床心理学専攻	50名	50名	50名
	芸術表現療法学科	50名	50名	50名	
	計	260名	256名	250名	
総計		1,031名	1,013名	995名	

- 2 第5条及び第19条の規定にかかわらず、家政学部家政学科及び児童学科は在学生在が卒するまでの間存続し、在学生の卒業を待って廃止する。なお、廃止までの間は従前の学則の規定に従う。
- 3 第5条及び第19条の規定にかかわらず、文学部日本文学科、英文学科、家政学部生活経営学科については、2002年（平成14年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、2003年（平成15年）4月1日から施行し、2003年度（平成15年度）入学者から適用する。ただし、第24条については、2002年度（平成14年度）入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、2004年（平成16年）4月1日から施行し、2004年度（平成16年度）入学者から適用する。
- 2 前項にかかわらず、別表1-3（4）及び（8）の「知的財産権論」に変更すること、（6）の「特定給食施設実習（1）」、「特定給食施設実習（2）」に変更すること、（8）の「実務研修」を削除すること、並びに別表3及び4については2002年度（平成14年度）入学者から適用する。

附 則

この学則は、2005年（平成17年）4月1日から施行し、2005年度（平成17年度）入学者から適用

する。

附 則

- 1 この学則は、2005年（平成17年）4月1日から施行し、2005年度（平成17年度）入学者から適用する。
- 2 第19条第2項表中の生活環境学部食環境栄養学科の栄養教諭1種免許状の所要資格を得させるための課程は、2004年度（平成16年度）入学者から適用する。
- 3 第23条の2については、2002年度（平成14年度）入学者から適用する。
- 4 第56条及び第56条の2については、2005年4月1日から在学生全員に適用する。
- 5 別表1-3（6）については、2004年度（平成16年度）入学者から適用する。
- 6 前項にかかわらず、別表1-3（6）の「栄養教育論実習」に変更すること、「臨地実習」に変更することについては、2003年度（平成15年度）入学者から適用する。

附 則（2005年7月25日理事会）

この学則は、2006年（平成18年）4月1日から施行し、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。

附 則（2006年3月27日理事会）

この学則は、2006年（平成18年）4月1日から施行し、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。ただし、別表1-4については、2004年度（平成16年度）入学者から適用する。

附 則（2006年11月27日理事会）

この学則は、2007年（平成19年）4月1日から施行する。

附 則（2007年3月26日理事会）

- 1 この学則は、2007年（平成19年）4月1日から施行し、2007年度（平成19年度）入学者から適用する。
- 2 第19条第2項表中の人間科学部現代子ども学科の小学校教諭1種免許状、及び薬学部薬学科の高等学校教諭1種免許状「理科」、中学校教諭1種免許状「理科」の所要資格を得させるための課程は、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。
- 3 第40条第1項及び第56条については、2007年（平成19年）4月1日から在学生全員に適用する。
- 4 第40条第3項及び第56条の2については、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。ただし、第56条の2第1項中の「進級制限を受け同じ学年に留まる者」については、2005年度（平成17年度）薬学部薬学科入学者にも適用する。
- 5 別表1-3（2）については、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。
- 6 別表1-4については、2006年度（平成18年度）入学者から適用する。

附 則（2007年11月26日理事会）

この学則は、2007年（平成19年）11月26日から施行する。ただし、別表3及び別表4については、2007年度（平成19年度）入学者から適用する。

附 則（2008年3月24日理事会）

この学則は、2008年（平成20年）4月1日から施行し、2008年度（平成20年度）入学者から適用する。

附 則（2008年3月24日理事会）

- 1 この学則は、2009年（平成21年）4月1日から施行し、2009年度（平成21年度）入学者から適用する。
- 2 第7条に規定の収容定員にかかわらず、2009年度（平成21年度）から2011年度（平成23年度）までの生活環境学部、現代文化学部及び人間科学部の収容定員及び2012年度（平成24年度）以降の各学部の収容定員は、次のとおりとする。

学部学科名		2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度以降)	
		収容定員	収容定員	収容定員	収容定員	
文学部	日本語日本文化学科	280名	280名	280名	280名	
	英語英米文化学科	360名	360名	360名	360名	
	外国語コミュニケーション学科	320名	320名	320名	320名	
	計	960名	960名	960名	960名	
生活環境学部	生活環境情報学科	310名	300名	290名	280名	
	環境デザイン学科	320名	320名	320名	320名	
	食環境栄養学科	320名	320名	320名	320名	
	計	950名	940名	930名	920名	
現代文化学部	国際社会学科	345名	340名	335名	330名	
	情報文化学科	385名	380名	375名	370名	
	福祉社会学科	340名	330名	320名	310名	
	計	1,070名	1,050名	1,030名	1,010名	
人間科学部	現代子ども学科	400名	430名	460名	490名	
	心理学科	社会心理学専攻	244名	244名	244名	244名
		臨床心理学専攻	206名	206名	206名	206名
	芸術・芸術療法学科	210名	210名	210名	210名	
	計	1,060名	1,090名	1,120名	1,150名	
薬学部	薬学科	750名	900名	900名	900名	
	計	750名	900名	900名	900名	
総計		4,790名	4,940名	4,940名	4,940名	

3 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、文学部言語文化学科、人間科学部芸術表現療法学科については、2009年（平成21年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学なくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2009年3月23日理事会）

この学則は、2009年（平成21年）4月1日から施行し、2009年度（平成21年度）入学者から適用する。

附 則（2009年3月23日理事会）

1 この学則は、2010年（平成22年）4月1日から施行し、2010年度（平成22年度）入学者から適用する。

- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、生活環境学部生活環境情報学科及び現代文化学部福祉社会学科については、2010年（平成22年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2010年3月29日理事会）

- 1 この学則は、2010年（平成22年）4月1日から施行し、2010年度（平成22年度）入学者から適用する。
- 2 第8条第3項及び第50条については、2010年4月1日から在学学生全員に適用する。

附 則（2010年3月29日理事会）

- 1 この学則は、2011年（平成23年）4月1日から施行し、2011年度（平成23年度）入学者から適用する。
- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、人間科学部心理学科社会心理学専攻及び臨床心理学専攻については、2011年（平成23年）3月31日に当該学科専攻に在学する者が当該学科専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2011年3月28日理事会）

- 1 この学則は、2011年（平成23年）4月1日から施行し、2011年度（平成23年）入学者から適用する。
- 2 別表2 授業科目 1 共通教育科目 VIアクティブ・ラーニング科目 ⑪プロジェクト科目のうち、「異文化体験」「ボランティア活動」「学生プロジェクト」の3科目については、2010年度以前の入学生にも適用し、修得した単位は総合教育科目又は自由履修の単位数に含めることができる。
- 3 別表3 卒業に必要な最低修得単位数のうち、食環境栄養学科の専門教育科目の単位数については2008年度入学者から適用する。

附 則（2011年3月28日理事会）

- 1 この学則は、2012年（平成24年）4月1日から施行し、2012年度（平成24年度）入学者から適用する。
- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、現代文化学部国際社会学科、情報文化学科及びコミュニティ福祉学科については、2012年（平成24年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2011年5月23日理事会）

この学則は、2011年（平成23年）5月23日から施行し、2011年度（平成23年度）入学者から適用する。

附 則（2012年3月26日理事会）

この学則は、2012年（平成24年）4月1日から施行し、2012年度（平成24年度）入学者から適用する。

附 則（2012年3月26日理事会）

- 1 この学則は、2013年（平成25年）4月1日から施行し、2013年度（平成25年度）入学者から適用する。
- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、人間科学部芸術・芸術療法学科については、2013年（平成25年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2013年3月25日理事会）

- 1 この学則は、2013年（平成25年）4月1日から施行し、2013年度（平成25年度）入学者から適用する。
- 2 第51条については、在学学生全員に適用する。

附 則（2014年3月31日理事会）

この学則は、2014年（平成26年）4月1日から施行する。

附 則（2014年5月26日理事会）

この学則は、2015年（平成27年）4月1日から施行する。

附 則（2015年3月30日理事会）

- 1 この学則は、2015年（平成27年）4月1日から施行する。
- 2 別表2及び別表3については、2015年度（平成27年度）入学者から適用する。

附 則（2015年3月30日理事会）

この学則は、2016年（平成28年）4月1日から施行し、2016年度（平成28年度）入学者から適用する。

附 則（2016年3月28日理事会）

この学則は、2016年（平成28年）4月1日から施行する。

附 則（2017年3月27日理事会）

- 1 この学則は、2017年（平成29年）4月1日から施行する。
- 2 第12条の2、別表2及び別表3については、2017年度（平成29年度）入学者から適用する。

附 則（2017年11月27日理事会）

- 1 この学則は、2018年（平成30年）4月1日から施行する。
- 2 別表2については、2018年度（平成30年度）入学者から適用する。

附 則（2018年3月26日理事会）

- 1 この学則は、2018年（平成30年）4月1日から施行する。
- 2 別表2及び別表7については、2018年度（平成30年度）入学者から適用する。

附 則（2018年3月26日理事会）

- 1 この学則は、2019年（平成31年）4月1日から施行し、2019年度（平成31年度）入学者から適用する。
- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、人間科学部現代子ども学科については、2019年（平成31年）3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（2019年3月25日理事会）

- 1 この学則は、2019年（平成31年）4月1日から施行し、2019年度（平成31年度）入学者から適用する。
- 2 第28条の2については、2018年度（平成30年度）入学者から適用する。

附 則（2019年5月27日理事会）

この学則は、2020年（令和2年）4月1日から施行し、2020年度（令和2年度）入学者から適用する。

附 則（2020年3月30日理事会）

この学則は、2020年（令和2年）4月1日から施行し、2020年度（令和2年度）入学者から適用する。

附 則（2021年3月29日理事会）

この学則は、2021年（令和3年）4月1日から施行し、2021年度（令和3年度）入学者から適用する。

附 則（2021年3月8日理事会）

この学則は、2022年(令和4年)4月1日から施行し、2022年度(令和4年度)入学者から適用する。

附 則 (2022年3月28日理事会)

- 1 この学則は、2022年(令和4年)4月1日から施行する。
- 2 第33条第2項、第35条第3項、第41条第4項及び別表2については、2022年度(令和4年度)入学者から適用する。

附 則 (2023年3月27日理事会)

- 1 この学則は、2023年(令和5年)4月1日から施行する。
- 2 別表1における現代子ども教育学科の教育研究上の目的については、2019年度(平成31年度)入学者から適用する。
- 3 別表2については、2023年度(令和5年度)入学者から適用する。

附 則 (2024年3月25日理事会)

- 1 この学則は、2024年(令和6年)4月1日から施行する。
- 2 別表1における薬学科の教育研究上目的については、2024年度(令和6年度)入学者から適用する。

附 則 (2025年3月24日理事会)

- 1 この学則は、2025年(令和7年)4月1日から施行する。
- 2 第19条の2項における教員職員免許状については、2025年度(令和7年度)入学者から適用する。

附 則 (2025年3月24日理事会)

- 1 この学則は、2026年(令和8年)4月1日から施行し、2026年度(令和8年度)入学者から適用する。
- 2 第5条、第7条及び第19条の規定にかかわらず、文学部英語英米文化学科、外国語コミュニケーション学科、生活環境学部生活マネジメント学科、環境デザイン学科、国際情報学部国際情報学科グローバルスタディーズコース、メディアスタディーズコース、人間科学部コミュニティ福祉学科については、2026年(令和8年)3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則 (2025年12月22日理事会)

この学則は、2026年(令和8年)4月1日から施行し、2026年度(令和8年度)入学者から適用する。

附 則 (2026年3月23日理事会)

この学則は、2026年(令和8年)4月1日から施行し、2026年度(令和8年度)入学者から適用する。

別表1 教育研究上の目的

別表2 授業科目

別表3 卒業に必要な最低修得単位数

別表4 管理栄養士受験資格及び栄養士免許証授与の所要資格に必要な授業科目

別表5 管理栄養士国家試験受験及び栄養士免許申請に関する単位履修証明書

別表6 削除

別表7 精神保健福祉士指定科目と本学開講科目の関連

2026.4.1別表

別記

2026.4.1別記

別記

学則第 36 条による検定料

入学検定料	35,000 円
-------	----------

学則第 37 条による入学金

入学金	200,000 円
-----	-----------

学則第 54 条による学納金

2026 年度入学者より適用

学 部 ・ 学 科 名 称		授 業 料 (年 額)	施 設 設 備 費 (年 額)	備 考
文学部	日本語日本文化学科	800,000 円	380,000 円	
	国際英語学科	840,000 円	382,000 円	
	総合歴史学科	840,000 円	382,000 円	
	音楽芸術学科	1,330,000 円	380,000 円	
経営学部	経営学科	840,000 円	382,000 円	
人間科学部	現代子ども教育学科	800,000 円	380,000 円	
	多元心理学科	800,000 円	380,000 円	
デザイン	建築デザイン学科	870,000 円	382,000 円	
工学部	情報デザイン学科	870,000 円	382,000 円	
生活環境学部	食環境栄養学科	840,000 円	380,000 円	
看護学部	看護学科	1,320,000 円	380,000 円	
薬学部	薬学科	1,660,000 円	380,000 円	

別表 1

教育研究上の目的

文学部	日本語あるいは英語または音楽演奏を通して言語運用能力や自己表出力、芸術的表現力を涵養するとともに、古今東西を視野に入れ文化を深く理解できる人材を養成する。異なる背景をもつ人々と協働しながら、歴史や文化を総合的・客観的に分析し、未来への展望を切り拓く能力を育成する。
日本語日本文化学科	異なる価値観を持つ人々との共存に向けて行動し、社会に貢献できる人材を養成する。そのため、日本語運用能力や日本文化に関する専門的知識に基づく考察力、および課題解決力を育成する。
国際英語学科	世界の多様な人々と協働し、主体的に社会に貢献する人材を養成する。そのために、卓越した英語力、明晰な思考力、優れた実践力を育成する。
総合歴史学科	歴史や文化に関する知識や技能を身につけ、多様な地域文化を理解する視点を持ち、日本、アジア、西洋の歴史や人々の活動を包括的に理解できる人材を養成する。現代社会の課題を深く理解し、主体的に考え、判断し、国際社会に貢献できる能力を育成する。
音楽芸術学科	芸術文化の多様性を探究し、創作や研究、演奏活動を通して豊かな人間性と協調性を養い、様々な分野で社会に貢献する人材を養成する。芸術作品と活動への理解に基づく分析力、想像力、強い精神力、新たな価値観を生み出す柔軟な発想力を育成する。
経営学部 経営学科	企業、行政、NPOなどでの経営や社会課題に関心を持ち、経営、マーケティング、会計、生活に関する高度な知識と技能を身につけた人材を養成する。様々な問題を包括的に分析し、他者との協力関係を重視しながら、解決に向けて行動できる能力を育成する。
人間科学部	「発達する存在」「心理的存在」「支えあう存在」の3つを人間理解の中核に置き、それぞれに対応した学科において専門的理解を深めるとともに、人間への総合的な探求を学部教育の基本的理念として掲げ、急激に変化する現代社会のなかで個人としても職業人としても自律的に生きていくことのできる人材を育成する。
現代子ども教育学科	子どもとその保護者に寄り添う人間性と高い倫理観を持ち、子どもを成長に導く専門的・実践的な知識・技能を身につけた人材を養成する。教育者・保育者としての専門性をもとに、多面的に子どもや教育・保育に関わる諸課題に向き合い、他者と協働・連携しながら、子どもが幸福に生きる社会の形成に貢献するための能力を育成する。
多元心理学科	心理学の基礎的事項を幅広く学ぶことにより、人間の精神的活動と社会的行動への理解を深めることを目指す。学生の学習興味および将来設計に応じて、より専門的な心理学の知識と技能を選択的に学習することにより、現代社会が抱える多様な課題に柔軟に対処し、心の専門家として貢献できる人材を育成する。

デザイン工学部	他者を思いやる心と豊かな視点を持ち、幅広い工学知識や高度な技能、未来を切り拓くための確かな実践力を身につけた人材を養成する。人間の感性と社会との調和を大切に、多様な人々と協力しながら、共生社会を実現するための能力を育成する。
建築デザイン学科	住居、建築、インテリア、都市の工学的な知識・技術と芸術的な感性を統合して、インクルーシブデザインの視点から総合的な生活環境をデザインできる人材を養成する。人や地域が抱える潜在的・顕在的な課題を把握し、新しい視点で共生社会の発展に寄与できる能力を育成する。
情報デザイン学科	日々変化する情報技術の分野において、幅広い知識と高度な技術、豊かな教養を持ち、システムの提案やデジタルコンテンツの制作に取り組むことのできる人材を養成する。他者と協働しながら、社会課題の解決に向けた方策を提案し、共生社会を実現するための能力を育成する。
生活環境学部 食環境栄養学科	食と健康に関わる高度な専門的知識・技能・態度を身につけ、情報を適性に取り扱い論理的な判断ができ、他者を理解・尊重し、協働しながら管理栄養士として社会で活躍できる能力を養成する。
看護学部 看護学科	多様な価値観や文化を尊重し、人間への畏敬の念をもって他者をいたわり、思いやることのできる優しさを備えるとともに、看護学の専門知識に基づいて自ら考え、判断する力と、確かな看護技術をもって実践する能力を身につけ、看護の質向上に寄与するために研鑽を重ねる能力を育成する。
薬学部 薬学科	薬剤師としての高い倫理観、科学的探究心、ホスピタリティーマインドを持ち、予防薬学から薬物治療までの薬学的管理を通して医療・福祉・公衆衛生に貢献する人材を養成する。現場での課題を包括的に分析し、他者との良好なコミュニケーションを重視しながら、主体的に活躍できる能力を育成する。

別表2 授業科目

1 共通教育科目

基礎教育科目

①金城アイデンティティ科目

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
キリスト教学 (1)	2	キリスト教学 (2)	2
聖書と現代社会	2	福祉とキリスト教	2
キリスト教と文化	2	聖書の女性観	2
女性みらい	1	世界の中の日本	1
国際社会と社会問題	2	Japanese Society and Culture A	2
Japanese Society and Culture B	2		

②言語 (英語)

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
英語コミュニケーションA	1	英語コミュニケーションB	1
英語コミュニケーションC	1	英語コミュニケーションD	1
実践英語スキル入門	1		

②言語 (外国語)

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
ドイツ語 (1)	1	ドイツ語 (2)	1
ドイツ語会話 (1)	1	ドイツ語会話 (2)	1
フランス語 (1)	1	フランス語 (2)	1
フランス語会話 (1)	1	フランス語会話 (2)	1
中国語 (1)	1	中国語 (2)	1
中国語会話 (1)	1	中国語会話 (2)	1
韓国・朝鮮語 (1)	1	韓国・朝鮮語 (2)	1
韓国・朝鮮語会話 (1)	1	韓国・朝鮮語会話 (2)	1

③情報

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
情報リテラシー	2	デジタル表現技術	2
Webデザイン	2	ビジネスデータサイエンス基礎	2

④教養

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本語表現の世界	2	日本文学入門	2
近代日本とアジア	2	ローカル文化リサーチ	2
日本国憲法	2	金融リテラシー	2
企業経営入門	2	企業会計入門	2
ビジネスと知的財産	2	健康美容の栄養学	2
健康とサプリメント	2	子どもの健康	2
女性と子どもの医学	2	心理学入門	2
カウンセリング入門	2	こころの哲学	2
環境学	2	生活とアパレル	2
クラシック音楽鑑賞	2	ハンドベル奏法	1
セルフブランディング入門	2	大学での学び	1

⑤スポーツ・アンド・エクササイズ

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
スポーツの理論と実技	2	フィジカル・フィットネス	1
メンタル・フィットネス	1		

キャリア教育科目

⑥キャリア開発

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
キャリア開発A	2	キャリア開発B	2
キャリア開発C	2	キャリア開発D	2
キャリア開発E	2		

⑦ビジネスリテラシー

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
経理入門と実務スキル	2	ファイナンシャルプランニング	2
ITとビジネス	2	カラーコーディネート基礎	2
数的処理と論理的思考	2	キャリアプランニング基礎	2
キャリアプランニング応用	2		

⑧プロジェクト

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
プロジェクトA	2	プロジェクトB	2
プロジェクトC	2	プロジェクトD	2
プロジェクトE	2	プロジェクトF	2
プロジェクトG	2	プロジェクトH	2
プロジェクトI	2	プロジェクトJ	2

⑨グローバルキャリア

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
海外研修A	2	海外研修B	2
海外研修C	2	海外研修D	2
海外インターンシップ	2		

2 日本語及び日本事情に関する科目

日本語

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本語A11	1	日本語A12	1
日本語A13	1	日本語A14	1
日本語A15	1	日本語A21	1
日本語A22	1	日本語A23	1
日本語A24	1	日本語A25	1
日本語B11	1	日本語B12	1
日本語B13	1	日本語B14	1
日本語B15	1	日本語B21	1
日本語B22	1	日本語B23	1
日本語B24	1	日本語B25	1
日本語C11	1	日本語C12	1
日本語C21	1	日本語C22	1
日本語アカデミック・スキルズ	1		

日本事情

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本事情A	2	日本事情B	2
日本事情C	2	日本事情D	2
インディペンデント・スタディ	2		

3 専門教育科目

(1) 文学部日本語日本文化学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
古典文化入門	2	古典文化史	2
古典文学史	2	近現代文化入門	2
近現代文化史	2	近現代文学史	2
日本語学入門	2	日本語史	2
日本語の音声・文字	2	人文系メディア・リテラシー	2
図書館概論	2	図書館基礎特論	2
博物館概論	2	日本語教育入門	2
古典文化概論	2	古典文学概論	2
古典文化講義A	2	古典文化講義B	2
古典文学講読A	2	古典文学講読B	2
近現代文化概論	2	近現代文学概論	2
近現代文化講義A	2	近現代文化講義B	2
近現代文学講読A	2	近現代文学講読B	2
日本語学概論A	2	日本語学概論B	2
日本語学講義A	2	日本語学講義B	2
日本語学講読	2	生涯学習概論	2
図書館サービス概論	2	情報サービス論	2
博物館資料論	2	博物館資料保存論	2
博物館展示論	2	日本語教授法	2
異文化コミュニケーション	2	日本美術史A	2
日本美術史B	2	ポップカルチャー論A	2
ポップカルチャー論B	2	日本思想論	2
日本芸術論A	2	日本芸術論B	2
世界文学と日本	2	メディアと文学	2
日本語の構造A	2	日本語の構造B	2
日本語文法	2	書道A	1
書道B	1	書道C	1
書道D	1	書道史	2
書論	2	漢文学概論A	2
漢文学概論B	2	図書・図書館史	1
図書館施設論	1	図書館情報資源概論	2
図書館情報技術論	2	図書館制度・経営論	2
児童サービス論	2	情報サービス演習A	1
情報サービス演習B	1	情報資源組織論	2
情報資源組織演習A	1	情報資源組織演習B	1
学校経営と学校図書館	2	学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2	読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2	博物館経営論	2
博物館教育論	2	博物館情報・メディア論	2
博物館実習(1)	2	博物館実習(2)	1
多文化共生社会と日本語	2	世界の日本語教育	2
日本語教育の諸問題	2	国内日本語教育実習	1
海外日本語教育実習	1	地域文化探求	2
日本文化実践	2	日本文化発信	2

子どもと絵本をつなぐプロジェクト(1)	1	子どもと絵本をつなぐプロジェクト(2)	1
基礎演習A	1	基礎演習B	1
日本文化演習A	1	日本文化演習B	1
図書館サービス演習	1	日本語教育演習A	1
日本語教育演習B	1	専門演習A	1
専門演習B	1	卒業論文演習A	1
卒業論文演習B	1	卒業論文	6

(2) 文学部国際英語学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
英語圏文化入門	2	英米文学の世界	2
英語のしくみ	2	国際社会の中の英語	2
国際社会とジェンダー	2	Reading Skills (1)	1
Reading Skills (2)	1	Speaking Skills (1)	1
Speaking Skills (2)	1	Speaking Skills (3)	1
Speaking Skills (4)	1	Writing Skills (1)	1
Writing Skills (2)	1	Writing Skills (3)	1
Writing Skills (4)	1	English Grammar (1)	1
English Grammar (2)	1	Extensive English (1)	1
Extensive English (2)	1	Integrated English (1)	1
Integrated English (2)	1	Integrated English (3)	1
Integrated English (4)	1	Advanced English (1)	1
Advanced English (2)	1	Advanced English (3)	1
Advanced English (4)	1	TOEIC演習A	1
TOEIC演習B	1	TOEIC演習C	1
TOEIC演習D	1	TOEIC演習E	1
TOEIC演習F	1	Study Abroad English A	1
Study Abroad English B	1	日米比較研究	2
通訳入門	2	翻訳入門	2
英語教育研究A	2	英語教育研究B	2
言語文化プロジェクト(海外)	2	言語文化プロジェクト(国内)	2
Expressive English A	1	Expressive English B	1
Intellectual History of Europe	2	Europe and Its Changing Role in the World	2
アメリカ経済論	2	アメリカ社会論	2
イギリス文化概論	2	イギリス文学概論	2
アメリカ文化概論	2	アメリカ文学概論	2
文学理論研究	2	文化理論研究	2
英語圏の映像文化	2	英語圏の芸術文化	2
Power, Imperialism, and Language	2	Japan's Relations with the U.S. and Great Britain	2
英語構造研究(1)	2	英語構造研究(2)	2
英語音声研究(1)	2	英語音声研究(2)	2
言語コミュニケーション理論A	2	言語コミュニケーション理論B	2
言語習得研究A	2	言語習得研究B	2
English in Society	2	Corpus Linguistics	2
翻訳演習(1)	1	翻訳演習(2)	1
翻訳プロジェクト	1	通訳演習(1)	1
通訳演習(2)	1	通訳演習(3)	1
通訳演習(4)	1	通訳プロジェクト	1
早期英語教育研究	2	早期英語教育教材研究	2
Classroom English	1	早期英語教育実習	1
小学校英語	2	English for Hospitality	1
コミュニケーションスキル	1	エアラインビジネス論	2
エアラインサービス論	2	ホスピタリティ論	2
サービスコミュニケーション論	2	サービスコミュニケーション演習	1
エアライン実地研修	1	観光学研究A	2
観光学研究B	2	観光学プロジェクト	1
観光学実地研修A	2	観光学実地研修B	2
経営戦略論A	2	経営戦略論B	2
女性起業論A	2	女性起業論B	2
ビジネス実践プロジェクトA	2	ビジネス実践プロジェクトB	2
ビジネス英語A	2	ビジネス英語B	2
ビジネス英語C	2	ビジネス英語D	2
基礎演習(1)	1	基礎演習(2)	1
専門演習(1)	1	専門演習(2)	1
専門演習(3)	1	専門演習(4)	1
専門演習(5)	1	専門演習(6)	1

(3) 文学部総合歴史学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本史入門(1)	2	日本史入門(2)	2
アジア史入門(1)	2	アジア史入門(2)	2
西洋史入門(1)	2	西洋史入門(2)	2
日本史概論A	2	日本史概論B	2
アジア史概論A	2	アジア史概論B	2
西洋史概論A	2	西洋史概論B	2
日本史各論A	2	日本史各論B	2

アジア史各論A	2	アジア史各論B	2
西洋史各論A	2	西洋史各論B	2
地域文化概論	2	地域文化各論	2
歴史文化研修A	2	歴史文化研修B	2
歴史文化研修C	2	文化人類学概論	2
文化人類学各論	2	地域情報学	2
建築史研修	1	フィールドワーク研究	2
フィールドワーク実習	2	宗教学概論	2
宗教学各論	2	社会学概論	2
政治学概論	2	考古学概論	2
人文地理学	2	地誌学概論	2
地誌学各論	2	自然地理学	2
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
博物館教育論	2	博物館情報・メディア論	2
博物館実習(1)	2	博物館実習(2)	1
世界遺産研究	3	日本史料講読A	2
日本史料講読B	2	アジア史料講読A	2
アジア史料講読B	2	西洋史料講読A	2
西洋史料講読B	2	古文書学	2
アーカイブズ研究	2	史料調査方法論	2
日本史特殊講義A	2	日本史特殊講義B	2
日本史特殊講義C	2	アジア史特殊講義A	2
アジア史特殊講義B	2	アジア史特殊講義C	2
アジア史特殊講義D	2	西洋史特殊講義A	2
西洋史特殊講義B	2	西洋史特殊講義C	2
文化特殊講義A	2	文化特殊講義B	2
日本文化史A	2	日本文化史B	2
アジア文化史A	2	アジア文化史B	2
西洋文化史A	2	西洋文化史B	2
イギリス文化史	2	アメリカ文化史	2
西洋美術史A	2	西洋美術史B	2
文化交流史A	2	文化交流史B	2
文化遺産研究	2	基礎演習(1)	1
基礎演習(2)	1	総合歴史演習(1)	1
総合歴史演習(2)	1	総合歴史演習(3)	1
総合歴史演習(4)	1	総合歴史演習(5)	1
総合歴史演習(6)	1	卒業研究プロジェクト	6

(4) 文学部音楽芸術学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
スタートアップゼミナール	2	ソルフェージュ	2
音楽理論	2	西洋音楽史A	2
西洋音楽史B	2	ピアノ(1)	2
ピアノ(2)	2	ピアノ(3)	2
ピアノ(4)	2	ピアノ(5)	2
ピアノ(6)	2	ピアノ(7)	2
ピアノ(8)	2	ピアノ伴奏(1)	2
ピアノ伴奏(2)	2	ピアノ伴奏(3)	2
ピアノ伴奏(4)	2	ピアノ伴奏(5)	2
ピアノ伴奏(6)	2	ピアノ伴奏(7)	2
ピアノ伴奏(8)	2	パイプオルガン(1)	2
パイプオルガン(2)	2	パイプオルガン(3)	2
パイプオルガン(4)	2	パイプオルガン(5)	2
パイプオルガン(6)	2	パイプオルガン(7)	2
パイプオルガン(8)	2	声楽(1)	2
声楽(2)	2	声楽(3)	2
声楽(4)	2	声楽(5)	2
声楽(6)	2	声楽(7)	2
声楽(8)	2	ミュージカル唱法(1)	2
ミュージカル唱法(2)	2	ミュージカル唱法(3)	2
ミュージカル唱法(4)	2	ミュージカル唱法(5)	2
ミュージカル唱法(6)	2	ミュージカル唱法(7)	2
ミュージカル唱法(8)	2	管楽器(1)	2
管楽器(2)	2	管楽器(3)	2
管楽器(4)	2	管楽器(5)	2
管楽器(6)	2	管楽器(7)	2
管楽器(8)	2	弦楽器(1)	2
弦楽器(2)	2	弦楽器(3)	2
弦楽器(4)	2	弦楽器(5)	2
弦楽器(6)	2	弦楽器(7)	2
弦楽器(8)	2	クラシックギター(1)	2
クラシックギター(2)	2	クラシックギター(3)	2
クラシックギター(4)	2	クラシックギター(5)	2
クラシックギター(6)	2	クラシックギター(7)	2

クラシックギター (8)	2	作曲・アレンジ (1)	2
作曲・アレンジ (2)	2	作曲・アレンジ (3)	2
作曲・アレンジ (4)	2	作曲・アレンジ (5)	2
作曲・アレンジ (6)	2	作曲・アレンジ (7)	2
作曲・アレンジ (8)	2	指揮 (1)	2
指揮 (2)	2	指揮 (3)	2
指揮 (4)	2	指揮 (5)	2
指揮 (6)	2	指揮 (7)	2
指揮 (8)	2	ミュージックカルチャー (1)	2
ミュージックカルチャー (2)	2	ミュージックカルチャー (3)	2
ミュージックカルチャー (4)	2	ミュージックカルチャー (5)	2
ミュージックカルチャー (6)	2	ミュージックカルチャー (7)	2
ミュージックカルチャー (8)	2	音楽芸術学演習 (1)	1
音楽芸術学演習 (2)	1	卒業演奏・卒業作品・卒業論文	6
和声	2	音楽基礎入門	1
サウンドクリエイト	2	副科編曲	2
副科作曲	2	副科指揮 (1)	2
副科指揮 (2)	2	副科ピアノ A	1
副科ピアノ B	1	副科声楽	1
副科管楽器	1	合唱	2
ピアノアンサンブル	2	チェンバーミュージック	2
声楽伴奏演習	2	伴奏演習 (1)	0.5
伴奏演習 (2)	0.5	伴奏演習 (3)	0.5
伴奏演習 (4)	0.5	伴奏演習 (5)	0.5
伴奏演習 (6)	0.5	伴奏演習 (7)	0.5
伴奏演習 (8)	0.5	声楽アンサンブル	2
ステージアクティング	2	オペラ演習	2
ミュージカル演習	2	発音法	2
管楽器アンサンブル A	2	管楽器アンサンブル B	2
管楽器アンサンブル C	2	管楽器アンサンブル D	2
管楽器アンサンブル E	2	管楽器アンサンブル F	2
管楽器アンサンブル G	2	管楽器アンサンブル H	2
室内アンサンブル A	2	室内アンサンブル B	2
演奏家特別レッスン A	1	演奏家特別レッスン B	1
ヤマハグレード取得講座・初級	2	ヤマハグレード取得講座・中級 A	2
ヤマハグレード取得講座・中級 B	2	ヤマハグレード取得講座・上級 A	2
ヤマハグレード取得講座・上級 B	2	音楽ビジネス入門	2
演奏家のための身体感覚レッスン	2	アレクサンダーテクニーク	2
クラシック音楽演習	2	邦楽 A	2
邦楽 B	2	古典舞踏	2
リトミック	2	合唱指導法	2
ピアノ指導法	2	吹奏楽指導法	2
ティーチング・トレーニング	2	音楽教員育成講座 A	2
音楽教員育成講座 B	2	世界の音楽教育	1
音楽心理学	2	ヨーロッパの文化と芸術	2
イタリア語入門 (1)	1	イタリア語入門 (2)	1
クラシック音楽研究	2	西洋美術史 A	2
西洋美術史 B	2	音楽と文学	2
音楽と美術	2	日本音楽論	2
民族音楽論	2	日本芸術論 A	2
西洋文化史 A	2	西洋文化史 B	2
訪問コンサート	2	音楽企業訪問・インターンシップ	2
アンサンブルコンサート演習 A	2	アンサンブルコンサート演習 B	2
ピアノ教室レッスン実習	2		

(5) 経営学部経営学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
アカデミックリテラシー	2	経営学総論 (1)	2
経営学総論 (2)	2	マーケティング概論 (1)	2
マーケティング概論 (2)	2	簿記会計概論 (1)	2
簿記会計概論 (2)	2	生活経営概論 (1)	2
生活経営概論 (2)	2	社会調査統計	2
企業論	2	経営管理論	2
女性起業論 A	2	女性起業論 B	2
サステナブル経営論 A	2	サステナブル経営論 B	2
経営戦略論 A	2	経営戦略論 B	2
経営組織論 A	2	経営組織論 B	2
心理学概論	2	組織心理学	2
組織行動論	2	経済学概論	2
日本経済論	2	世界経済論	2
広告論	2	広告コピー制作	2
マーケティングリサーチ	2	流通論	2
消費者教育論	2	消費者行動論	2
メディア論	2	映像論	2
デザイン論	2	映像コンテンツ制作論	2
商業簿記 (1)	2	商業簿記 (2)	2

工業簿記(1)	2	工業簿記(2)	2
財務会計論	2	管理会計論	2
ファイナンシャルプランニングA	2	ファイナンシャルプランニングB	2
ファイナンシャルプランニングC	2	ファイナンシャルプランニングD	2
生活経済学	2	生活設計論	2
消費者政策論	2	消費者運動論	2
法学概論	2	国際法	2
国際人権法	2	社会学概論	2
公共社会学	2	社会政策論A	2
社会政策論B	2	質的調査論	2
現代社会論	2	ビジネス英語A	2
ビジネス英語B	2	ビジネス英語C	2
ビジネス英語D	2	海外研修プロジェクトA	2
海外研修プロジェクトB	2	ソーシャルビジネス論	2
ソーシャルイノベーション論	2	技術経営論	2
経営倫理論	2	サステナブルマーケティング論	2
キャリア心理学	2	人的資源管理論	2
リスクマネジメント論	2	財務分析	2
CM制作	2	プロモーション映像制作	2
ビジネスと人権	2	国際経済学	2
情報社会論	2	情報倫理論	2
社会開発論	2	政策評価論	2
知的財産法	2	デザイン保護法	2
産業福祉論	2	社会保障論A	2
社会保障論B	2	観光学研究A	2
観光学研究B	2	プロジェクト演習A	2
プロジェクト演習B	2	基礎演習A	2
基礎演習B	2	専門演習(1)	2
専門演習(2)	2	専門演習(3)	2
専門演習(4)	2	経営研究プロジェクトA	2
経営研究プロジェクトB	2	卒業論文	4

(6) 人間科学部現代子ども教育学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
子ども学概論	2	インクルーシブ教育論	2
多文化共生社会と日本語	2	教育原論	2
社会福祉	2	教育者・保育者のためのライフ・プロモーション	1
生涯発達心理学概論	2	子どもと絵本をつなぐプロジェクト(1)	1
子どもと絵本をつなぐプロジェクト(2)	1	子ども運動プロジェクト	2
子どもアトリエプロジェクト	2	子ども支援・ケアプロジェクト	2
異文化間コミュニケーション(海外実習)	2	ICTを活用した保育記録の作成	1
保育職実践力探究	1	授業づくり・学級づくり入門	1
教職実践力探究	1	保育インターンシップA	1
保育インターンシップB	2	教職インターンシップA	1
教職インターンシップB	1	自治体・NPOインターンシップ	1
領域(健康)	1	領域(人間関係)	1
領域(環境)	1	領域(言葉)	1
領域(表現)	1	保育内容の指導法(健康)	2
保育内容の指導法(人間関係)	2	保育内容の指導法(環境)	2
保育内容の指導法(言葉)	2	保育内容の指導法(表現・音楽)	2
保育内容の指導法(表現・美術)	2	保育内容総論	2
音楽A	1	音楽B	1
音楽C	1	造形表現A	1
造形表現B	1	保育原理	2
子ども家庭福祉	2	子ども家庭支援論	2
社会的養護A	2	社会的養護B	1
乳幼児期発達心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2
子どもの理解と援助	1	子どもの保健	2
子どもの食と栄養	2	保育の計画と評価	2
乳児保育A	2	乳児保育B	1
子どもの健康と安全	1	障害児保育	2
子育て支援	1	国語科研究	1
社会科研究	1	算数科研究	1
理科研究	1	生活科研究	1
音楽科研究	1	図画工作科研究	1
家庭科研究	1	体育科研究	1
英語科研究	1	国語科教育法	2
社会科教育法	2	算数科教育法	2
理科教育法	2	生活科教育法	2
音楽科教育法	2	図画工作科教育法	2
家庭科教育法	2	体育科教育法	2
英語科教育法D	2	英語研究入門(1)	2
英語研究入門(2)	2	Oral Presentation(1)	2
Oral Presentation(2)	2	英米文学入門	2
英語コミュニケーション論	2	英語コミュニケーションの技法A	1
英語コミュニケーションの技法B	1	英語コミュニケーションの技法C	1

英語コミュニケーションの技法D	1	コミュニケーション英文法	2
異文化理解入門	2	メディア英語	2
英語科教育法A	2	英語科教育法B	2
英語科教育法C	2	保育者・教育者論	2
特別支援教育論	2	教育課程計画法	2
道徳教育論	2	道徳教育演習	1
総合的な学習の指導法	2	特別活動論	2
教育方法論	2	教育の方法及び情報通信技術の活用	2
生徒・進路指導とキャリア教育論	2	日本国憲法	2
発達と学習	2	教育相談	2
保育・教職実践演習	2	保育実習A	2
保育実習B	2	保育実習C	2
保育実習D	2	保育実習指導A	1
保育実習指導B	1	保育実習指導C	1
保育実習指導D	1	教育実習(幼小)	4
教育実習法(幼小)	1	教育実習(小中)	4
教育実習法(小中)	1	卒業論文・卒業制作	6
子ども学基礎演習(1)	1	子ども学基礎演習(2)	1
子ども教育学演習(1)	1	子ども教育学演習(2)	1
子ども教育学演習(3)	1	子ども教育学演習(4)	1

(7) 人間科学部多元心理学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数
多職種連携の学びA(心・食・看・薬)	1	多職種連携の学びB(心・食)	1
社会福祉概論(1)	2	心理学概論	2
多元心理学入門	2	多元心理学総論	2
心理学統計法	2	心理学研究法	2
心理学実験A	2	心理学実験B	2
データ解析法A	2	データ解析法B	2
社会学概論	2	社会調査の設計と技法	2
社会心理学概論	2	社会・集団・家族心理学	2
態度変容論	2	コミュニティ社会心理学	2
実験社会心理学	2	社会調査論	2
メディア心理学	2	先端社会心理学	2
司法・犯罪心理学	2	交通心理学	2
健康心理学概論	2	音楽心理学	2
知覚・認知心理学	2	人間関係論	2
ポジティブ心理学	2	ストレスマネジメント	2
健康・医療心理学	2	老年心理学	2
生涯スポーツ心理学	2	キャリア心理学概論	2
キャリア・カウンセリング	2	キャリア・カウンセリング演習	2
産業心理学(産業・組織心理学A)	2	産業カウンセリング	2
組織心理学(産業・組織心理学B)	2	経営心理学	2
リーダーシップ論	2	ヒューマン・リソース・マネジメント	2
臨床心理学概論	2	公認心理師の職責	2
心理療法論(心理学的支援法A)	2	遊戯療法	2
認知行動療法	2	イメージ表現療法	2
感情・人格心理学	2	精神分析学	2
心理的アセスメント	2	投射法	2
教育心理学	2	教育・学校心理学	2
特別支援教育と障害児援助(心理学的支援法B)	2	障害者・障害児心理学	2
発達心理学	2	学習・言語心理学	2
発達臨床心理学	2	福祉心理学	2
医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	精神医学と精神医療(精神疾患とその治療)(1)	2
精神医学と精神医療(精神疾患とその治療)(2)	2	現代の精神保健の課題と支援(1)	2
現代の精神保健の課題と支援(2)	2	神経・生理心理学	2
刑事司法と福祉	2	地域福祉論(1)	2
ソーシャルワークの理論と方法(専門)(1)	2	ソーシャルワークの理論と方法(専門)(2)	2
精神保健福祉制度論(関係行政論)	2	精神障害リハビリテーション論	2
人間科学基礎演習	2	多元心理学基礎演習	2
多元心理学演習(1)	2	多元心理学演習(2)	2
卒業論文	6	社会福祉概論(2)	2
ソーシャルワーク演習	1	社会福祉援助技術論(1)	2
社会福祉援助技術論(2)	2	ソーシャルワークの基盤と専門職(基礎)	2
精神保健福祉の原理(1)	2	精神保健福祉の原理(2)	2
ソーシャルワーク演習(専門)(1)	1	ソーシャルワーク演習(専門)(2)	1
ソーシャルワーク演習(専門)(3)	1	ソーシャルワーク実習指導(1)	1
ソーシャルワーク実習指導(2)	1	ソーシャルワーク実習指導(3)	1
ソーシャルワーク実習	3	社会保障論(1)	2
社会保障論(2)	2	権利擁護と成年後見	2
地域福祉論(2)	2	障害者福祉論	2
心理演習	2	心理実習(1)	1
心理実習(2)	1		

(8) デザイン工学部建築デザイン学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
プロジェクト入門	1	建築デザイン入門	2
建築デザイン特論	2	建築数学基礎	2
建築数学	2	建築プロジェクト入門	1
インクルーシブデザイン (1)	2	インクルーシブデザイン (2)	2
インクルーシブデザインプロジェクト	1	人間工学	2
居住福祉論	2	社会ニーズ調査法	1
社会データ解析法	1	ベーシックデザイン (1)	2
ベーシックデザイン (2)	2	カラーサイエンス	2
デザインプロジェクト	1	造形デザインA	1
造形デザインB	1	コンピュータデザイン基礎	1
デジタルファブリケーション基礎	1	デジタルファブリケーション応用	1
デジタルファブリケーションプロジェクト	1	住居計画学	2
建築計画学	2	リノベーション論	2
近代建築史	2	西洋建築史	2
日本建築史	2	建築環境工学入門	2
建築環境工学 (1)	2	建築設備学	2
建築環境工学実験	2	建築法規	2
建築施工	2	建築構法	2
建築構造力学 (1)	2	建築材料学 (1)	2
建築材料学実験	2	設計製図基礎	2
建築デザイン設計基礎	2	建築デザイン設計 (1)	2
建築デザイン設計 (2)	2	建築CAD基礎	1
建築CAD応用	1	建築プロデュース論	2
住生活論	2	建築環境工学 (2)	2
建築環境工学プロジェクト	1	建築構造力学 (2)	2
建築構造設計演習	1	建築材料学 (2)	2
建築構造材料プロジェクト	1	建築デザイン設計A	2
建築デザイン設計B	2	ランドスケープデザイン	1
建築設計プロジェクト	2	インテリアデザイン史	2
インテリアデザイン論	2	インテリアデザイン設計A	2
インテリアデザイン設計B	2	インテリアプロジェクトA	1
インテリアプロジェクトB	1	マテリアルサイエンス	2
マテリアルサイエンス実習	2	都市計画学	2
現代まちづくり論	2	まちづくりプロジェクトA	1
まちづくりプロジェクトB	1	都市デザイン設計	2
基礎ゼミ	1	卒業研究ゼミ	2
卒業論文・制作	6	特別プロジェクトA	2
特別プロジェクトB	2		

(9) デザイン工学部情報デザイン学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
情報デザイン基礎演習A	1	情報デザイン基礎演習B	1
情報デザイン国内外研修 (1)	1	情報デザイン国内外研修 (2)	1
情報デザインとキャリア	2	情報デザインとアントレプレナーシップ	2
数学基礎	2	プログラミング基礎	2
情報工学基礎	2	ヴィジュアルプログラミング	2
データ構造とアルゴリズム	2	情報処理論	2
プログラミング応用A (スマートフォンアプリ開発)	2	情報システム論	2
Webデザイン技術A	2	知的財産法	2
プログラミング応用B (Python応用)	2	Webデザイン技術B	2
コンピュータアーキテクチャ	2	UI/UXデザイン	2
プログラミング応用C (ゲームプログラミング)	2	情報ネットワーク論	2
情報セキュリティ論	2	情報倫理論	2
知能ロボティクス	2	AIと社会	2
統計学	2	線形代数	2
解析学	2	多変量解析	2
データサイエンス基礎	2	データベース技術	2
社会調査A	2	データエンジニアリング	2
社会調査B	2	モデル化とシミュレーション	2
AIと機械学習	2	AI演習	2
デジタル表現基礎	2	メディア論	2
デザイン論	2	デザイン基礎 (平面)	2
映像コンテンツ制作技術	2	映像論	2
デザイン応用A (グラフィック)	2	アニメーション技術	2
映像コンテンツ制作論	2	CG-VR論	2
映像コンテンツ制作マネジメント	2	デザイン応用B (エディトリアル)	2
3D-CG技術	2	カラーコーディネート論	2
デジタルファブリケーション	2	デザイン保護法	2
情報社会論	2	社会デザイン基礎	2
コミュニティデザインと地域再生	2	情報と法	2
情報社会とアクセシビリティ	2	社会デザイン応用	2
社会開発論	2	ソーシャルイノベーション論	2
都市社会学	2	社会政策論	2
経済社会学	2	老年学	2

政策評価論	2	地域福祉論	2
障害学	2	地域情報学	2
学術作文	2	情報デザイン演習(1)	1
情報デザイン演習(2)	1	情報デザイン演習(3)	1
情報デザイン演習(4)	1	プロジェクト演習A	2
プロジェクト演習B	2	プロジェクト演習C	4
プロジェクトマネジメント論(1)	2	プロジェクトマネジメント論(2)	2
アクションラーニング	2	ファンドレイジング	2
メタファシリテーション	2	卒業論文・卒業制作・卒業PJ	4

(10) 生活環境学部食環境栄養学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
基礎化学	2	基礎有機化学	2
分析化学	2	食環境論	2
医療統計学	1	基礎栄養学概論	2
管理栄養士特論A	2	管理栄養士特論B	2
食環境プロジェクト	1	多職種連携の学びA(心・食・看・薬)	1
多職種連携の学びB(心・食)	1	総合学習プロジェクトA	1
総合学習プロジェクトB	2	総合学習プロジェクトC	2
総合学習プロジェクトD	2	総合学習プロジェクトE	2
社会保健学	2	公衆衛生学(1)	2
公衆衛生学(2)	2	病原微生物学	2
解剖生理学(1)	2	解剖生理学(2)	2
解剖生理学実験(1)	2	解剖生理学実験(2)	1
病理学総論	2	病理学各論	2
生化学(1)	2	生化学(2)	2
生化学実験(1)	1	生化学実験(2)	1
食品学(1)	2	食品学(2)	2
食品学実験(1)	1	食品学実験(2)	1
食品衛生学	2	食品衛生学実験	1
調理学	2	調理学実習(1)	1
調理学実習(2)	1	調理学実習(3)	1
基礎栄養学	2	栄養学実習	1
応用栄養学総論	2	母子栄養学	2
加齢栄養学	2	応用栄養学実習	1
栄養教育原論	2	栄養教育各論	2
栄養教育論実習	2	栄養カウンセリング論	2
栄養カウンセリング実習	1	臨床栄養学	2
栄養アセスメント論	2	臨床栄養管理論	2
疾病別栄養管理論	2	疾病別栄養管理実習	1
臨床栄養学実習	1	公衆栄養学(1)	2
公衆栄養学(2)	2	公衆栄養学実習	1
給食経営管理論	2	フードマネジメント論	2
給食経営管理実習	1	栄養総合演習	2
臨地実習	4	スタートアップセミナー	1
食環境学演習A	1	食環境学演習B	1
卒業論文	8	学校の食指導法	2
食教育指導法	2	栄養教育実習(事前事後指導を含む)	2

(11) 看護学部 看護学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
基礎ゼミナール	1	生命倫理	1
統計科学	2	多職種連携の学びA(心・食・看・薬)	1
多職種連携の学びB(看・薬)	1	看護英語コミュニケーション(1)	1
看護英語コミュニケーション(2)	1	看護英語コミュニケーション(3)	1
解剖生理学A(人体の構造)	1	解剖生理学B(人体の機能)	1
解剖生理学C(生殖・臨床解剖学)	1	生化学	2
病態生理学	1	薬理学	2
栄養学	1	疾病・病態・治療論A(循環器・呼吸器)	1
疾病・病態・治療論B(内分泌・腎)	1	疾病・病態・治療論C(血液・神経・運動器)	1
疾病・病態・治療論D(周産期・小児・精神(老年含む))	1	微生物学	1
感染症看護論	1	カウンセリング	1
健康科学概論	1	公衆衛生看護学概論	2
社会保障論	1	疫学	2
保健統計学	1	保健医療福祉行政論(1)	2
保健医療福祉行政論(2)	1	家族社会学	1
看護学概論	2	看護理論と看護実践への活用	1
看護過程論	1	家族看護論	1
看護倫理	1	医療リスクマネジメント論	1
基礎看護生活援助技術演習	2	基礎看護診療援助技術演習	2
看護コミュニケーション論	1	ヘルスアセスメント(1)	2
基礎看護学実習(1)	1	基礎看護学実習(2)	2
地域・在宅看護学概論	2	地域包括ケア論	1
地域・在宅看護援助論(1)	2	地域・在宅看護援助論(2)	1
地域・在宅看護学実習	2	地域生活支援実習	1
グローバルヘルス看護学概論	2	グローバルヘルス看護援助論	1

グローバルヘルス看護実践演習	1	成人看護学概論	2
急性期看護援助論	2	慢性期看護援助論	2
成人看護援助論	2	急性期看護学実習	3
慢性期看護学実習	3	小児看護学概論	2
小児看護援助論(1)	1	小児看護援助論(2)	1
小児看護学実習	2	母性看護学概論	2
母性看護援助論(1)	1	母性看護援助論(2)	1
母性看護学実習	2	高齢者看護学概論	2
高齢者看護援助論(1)	1	高齢者看護援助論(2)	1
高齢者看護学実習	3	精神看護学概論	2
精神看護援助論(1)	1	精神看護援助論(2)	1
精神看護学実習	2	災害看護論	1
感染症と社会	1	看護政策	1
看護管理学	1	チーム医療論	1
統合実習	2	看護研究方法と看護実践への活用	1
原著講読	1	看護総合科目	2
ヘルスアセスメント(2)	2	卒業研究	2
公衆衛生看護活動論A(母子・成人・高齢・学校保健・産業保健)	2	公衆衛生看護活動論B(精神・障害者・難病・感染症・産科保健)	2
健康教育論	1	公衆衛生看護活動論(地域診断・地区高齢活動・グループ支援・地域ケアシステム)	2
公衆衛生看護援助論(個人・家族への保健指導)	1	公衆衛生看護管理論(看護管理活動・健康危機管理)	2
公衆衛生看護活動総合演習(1)(地域診断・保健師活動の展開)	2	公衆衛生看護活動総合演習(2)(公衆衛生看護活動の統合と保健師の働き)	1
公衆衛生看護学実習(1)	3	公衆衛生看護学実習(2)	2

(12) 薬学部薬学科






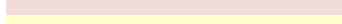
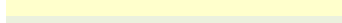

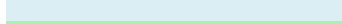




授業科目	単位数	授業科目	単位数
薬学概論(1)	2	薬学概論(2)	4
倫理学	2	心理学	2
法学	2	薬学情報基礎	2
多職種連携の学びA(心・食・看・薬)	1	多職種連携の学びC(看・薬)	1
基礎化学(1)	1	基礎化学(2)	1
基礎生物学	1	有機化学(1)	1
有機化学(2)	1	薬品物理化学	1
機能形態学(1)	1	機能形態学(2)	1
機能形態学(3)	1	生化学(1)	1
生化学(2)	1	分析化学(1)	1
分析化学(2)	1	環境科学	1
有機化学(3)	1	有機化学(4)	1
生化学(3)	1	衛生化学(1)	1
衛生化学(2)	1	微生物学	1
免疫学	1	医用統計学	1
公衆衛生学	1	基礎薬理学	1
薬理学A(中枢神経系)	1	薬理学B(循環器系)	1
薬理学C(消化器系)	1	薬理学D(炎症・免疫系)	1
薬理学E(感覚器・泌尿器・内分泌系)	1	製剤学(1)	1
製剤学(2)	1	薬物動態学	1
生物製剤学	1	医療薬学A	1
医療薬学B	1	生薬学(1)	1
生薬学(2)	1	天然物化学	1
医薬品化学(1)	1	医薬品化学(2)	1
薬物治療学A	1	薬物治療学B	1
薬事関係法規・制度	1	化粧品科学A	1
医薬品情報学(1)	1	医薬品情報学(2)	1
環境衛生学	1	食品衛生学	1
分子生物学	1	漢方概論	1
薬品分析学	1	薬学英語(1)	1
薬学英語(2)	1	薬学英語(3)	1
機器分析学	1	構造解析学	1
放射線学	1	感染症学	1
薬理学F(腫瘍)	1	病態生理学	1
臨床化学	1	看護学総論	1
医療倫理	1	コミュニケーション技法	1
ゲノム薬学	1	臨床薬物治療学	1
医療検査概論	1	社会薬学	1
緩和医療入門	1	化粧品科学B	1
バイオテクノロジー	1	化粧品学	1
サプリメント開発概論	1	臨床栄養化学	1
化学系実習(1)	1	化学系実習(2)	1
生物系実習(1)	1	生物系実習(2)	1
物理・分析系実習	1	衛生化学系実習	1
薬理系実習	1	薬剤・製剤系実習	1
実務実習	20	薬学実践実習	2
薬学セミナー(2)	1	薬学セミナー(1)	1
薬学セミナー(4)	2	薬学セミナー(3)	2
薬学セミナー(6)	1	薬学セミナー(5)	2
薬学PBL(2)	2	薬学PBL(1)	2
薬学CBL	1	薬学TBL	1

基礎薬学演習 B	1	基礎薬学演習 A	1
薬学計算演習	1	基礎薬学演習 C	1
事前学習 (1)	8	薬学演習	4
薬学総合演習	7	事前学習 (2)	2
卒業研究	10	薬学応用演習	2
地学	1	基礎物理学	1
地学実習	1		

4. 各教科(中級課程)・教科(基礎課程)の単位数(科目別) (中等科課程編—種別別科・高等学校課程編—種別別科・職業課程編—種別別科)

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
国語科指導法 A	4	国語科指導法 B	2
国語科指導法 C	2	社会科・地理歴史科指導法 A	2
社会科・地理歴史科指導法 B	2	社会科・地理歴史科指導法 C	2
社会科・地理歴史科指導法 D	2	理科指導法 A	4
理科指導法 B	2	理科指導法 C	2
音楽科指導法 A	4	音楽科指導法 B	2
音楽科指導法 C	2	英語科指導法 A	4
英語科指導法 B	2	英語科指導法 C	2
書道科指導法	4	情報科指導法	4
学校と教育の歴史	2	教職入門	2
教育社会学	2	発達と学習	2
特別支援教育の理論と方法	2	教育課程論	2
道徳教育の理論と方法	2	総合的な学習の時間の指導法	2
特別活動の指導法	2	教育の方法及び情報通信技術の活用	2
生徒・進路指導とキャリア教育の理論と方法	2	教育相談	2
教育実習 A	5	教育実習 B	3
教職実践演習 (中高)	2	教職実践演習 (栄養教諭)	2

着色箇所凡例

-  : 総合歴史学科・情報デザイン学科「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」
-  : 国際英語学科・総合歴史学科・情報デザイン学科「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」
-  : 国際英語学科 中高一種免「教科に関する科目」
-  : 国際英語学科 中高一種免「教科に関する科目」かつ「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」
-  : 総合歴史学科 中高一種免「教科に関する科目」
-  : 総合歴史学科 中一種免「教科に関する科目」
-  : 総合歴史学科 高一種免「教科に関する科目」
-  : 情報デザイン学科 高一種免「教科に関する科目」
-  : 総合歴史学科 中高一種免「教科の指導法に関する科目」
-  : 国際英語学科 中高一種免「教科の指導法に関する科目」
-  : 情報デザイン学科 高一種免「教科の指導法に関する科目」
-  : 中高一種免「教育の基礎的理解に関する科目等」
-  : 中一種免「教育の基礎的理解に関する科目等」、高一種免「大学が独自に設定する科目」

別表3 卒業に必要な最低修得単位数

学 部	学 科	共通教育科目	専門教育科目	卒業要件単位数
文学部	日本語日本文化学科	18	86	124
	国際英語学科	18	106	124
	総合歴史学科	18	96	124
	音楽芸術学科	20	84	124
経営学部	経営学科	18	98	124
人間科学部	現代子ども教育学科	17	67	124
	多元心理学科	18	80	124
デザイン工学部	建築デザイン学科	18	102	124
	情報デザイン学科	18	92	124
生活環境学部	食環境栄養学科	18	106	124
看護学部	看護学科	13	115	128
薬学部	薬学科	19	167	186

別表4 管理栄養士受験資格及び栄養士免許証授与の所要資格に必要な授業科目

区分	授業科目	規則単位 履修方法		科目形態と単位数の 必修・選択の別			履修 方法	
		講義演習	実験実習	形態	必修	選択		
専門 基礎 分野 科目	社会・環境と健康	社会保健学	6	10	講義	2		
		※公衆衛生学(1)			講義	2		
		※公衆衛生学(2)			講義	2		
	人体の構造と機能、疾病の成り立ち	※病原微生物学	14		講義	2		
		※解剖生理学(1)			講義	2		
		解剖生理学(2)			講義	2		
		※解剖生理学実験(1)			実験	1		
		解剖生理学実験(2)			実験	1		
		※病理学総論			講義	2		
		病理学各論			講義	2		
		※生化学(1)			講義	2		
		生化学(2)			講義	2		
		※生化学実験(1)			実験	1		
	生化学実験(2)	実験	1					
	食べ物と健康	※食品学(1)	8		講義	2		
		※食品学(2)			講義	2		
		※食品学実験(1)			実験	1		
		食品学実験(2)			実験	1		
		※食品衛生学			講義	2		
		※食品衛生学実験			実験	1		
※調理学		講義		2				
※調理学実習(1)		実習		1				
※調理学実習(2)		実習		1				
※調理学実習(3)		実習		1				
小計 1		28	10		38	0		
専門 分野 科目	基礎栄養学	※基礎栄養学	2	8	講義	2		
		※栄養学実習			実習	1		
	応用栄養学	※応用栄養学総論	6		講義	2		
		※母子栄養学			講義	2		
		※加齢栄養学			講義	2		
		※応用栄養学実習			実習	1		
	栄養教育論	※栄養教育原論	6		講義	2		
		※栄養教育各論			講義	2		
		※栄養教育論実習			実習	1		
		栄養カウンセリング論			講義	2		
	栄養カウンセリング実習	実習	1					
	臨床栄養学	※疾病別栄養管理論	8		講義	2		
		※臨床栄養学			講義	2		
		栄養アセスメント論			講義	2		
		臨床栄養管理論			講義	2		
※疾病別栄養管理実習		実習		1				
臨床栄養学実習	実習	1						
公衆栄養学	※公衆栄養学(1)	4	講義	2				
	公衆栄養学(2)		講義	2				
	※公衆栄養学実習		実習	1				
給食経営管理論	※給食経営管理論	4	講義	2				
	フードマネージメント論		講義	2				
	※給食経営管理実習		実習	1				
総合演習	栄養総合演習	2		演習	2			
臨地実習	※臨地実習		4	実習	4			
小計 2		32	12		44	0		
合計(小計 1+小計 2)		60	22		82	0		

※科目は栄養士免許の資格に必要な授業科目

別表5 管理栄養士国家試験受験及び栄養士免許申請に関する単位履修証明書

管理栄養士国家試験受験に関する単位履修証明書				
フリガナ				
氏名				
生年月日	昭和・平成 年 月 日生			
栄養士法施行令で定める教育内容	左記に対応する 本学開設授業科目	学則規定単位	本人履修単位	
専門基礎分野科目	社会・環境と健康	社会保健学	2	
		公衆衛生学（1）	2	
		公衆衛生学（2）	2	
	人体の構造と機能、疾病の成り立ち	病原微生物学	2	
		解剖生理学（1）	2	
		解剖生理学（2）	2	
		解剖生理学実験（1）	1	
		解剖生理学実験（2）	1	
		病理学総論	2	
		病理学各論	2	
		生化学（1）	2	
		生化学（2）	2	
		生化学実験（1）	1	
	生化学実験（2）	1		
	食べ物と健康	食品学（1）	2	
		食品学（2）	2	
		食品学実験（1）	1	
		食品学実験（2）	1	
		食品衛生学	2	
		食品衛生学実験	1	
調理学		2		
調理学実習（1）		1		
調理学実習（2）		1		
調理学実習（3）		1		
専門分野科目	基礎栄養学	基礎栄養学	2	
		栄養学実習	1	
	応用栄養学	応用栄養学総論	2	
		母子栄養学	2	
		加齢栄養学	2	
		応用栄養学実習	1	
	栄養教育論	栄養教育原論	2	
		栄養教育各論	2	
		栄養教育論実習	1	
		栄養カウンセリング論	2	
		栄養カウンセリング実習	1	
	臨床栄養学	疾病別栄養管理論	2	
		臨床栄養学	2	
		栄養アセスメント論	2	
		臨床栄養管理論	2	
		疾病別栄養管理実習	1	
		臨床栄養学実習	1	
	公衆栄養学	公衆栄養学（1）	2	
		公衆栄養学（2）	2	
		公衆栄養学実習	1	
給食経営管理論	給食経営管理論	2		
	フードマネジメント論	2		
	給食経営管理実習	1		
総合演習	栄養総合演習	2		
臨地実習	臨地実習	4		

上記の者は、当大学において、管理栄養士受験資格に関する授業科目を履修

し修得したことを証明する。

平成 年 月 日

所在地

大学名

大学代表者名

印

栄養士免許申請に関する単位履修証明書

フリガナ			
氏 名			
生年月日	昭和・平成 年 月 日生		
栄養士法施行令で定める教育内容	左記に対応する 本学開設授業科目	学則規定単位	本人履修単位
社会生活と健康	公衆衛生学（１）	2	
	公衆衛生学（２）	2	
人体の構造と機能	病原微生物学	2	
	解剖生理学（１）	2	
	解剖生理学実験（１）	1	
	病理学総論	2	
	生化学（１）	2	
	生化学実験（１）	1	
食品と衛生	食品学（１）	2	
	食品学（２）	2	
	食品学実験（１）	1	
	食品衛生学	2	
	食品衛生学実験	1	
栄養と健康	基礎栄養学	2	
	栄養学実習	1	
	応用栄養学総論	2	
	母子栄養学	2	
	加齢栄養学	2	
	応用栄養学実習	1	
	疾病別栄養管理論	2	
	臨床栄養学	2	
疾病別栄養管理実習	1		
栄養の指導	栄養教育原論	2	
	栄養教育各論	2	
	栄養教育論実習	1	
	公衆栄養学（１）	2	
	公衆栄養学実習	1	
給食の運営	調理学	2	
	調理学実習（１）	1	
	調理学実習（２）	1	
	調理学実習（３）	1	
	給食経営管理論	2	
	給食経営管理実習	1	
	臨地実習	4	

上記の者は、当大学において、栄養士免許に関する授業科目を履修し修得したことを証明する。

平成 年 月 日

所在地

大学名

大学代表者名

印

別表 6 削除

別表7 精神保健福祉士指定科目と本学開講科目の関連

文部科学省令・厚生労働省令で定める 精神保健福祉に関する科目および時間数		左記に対応する本学開設授業科目、 開講学年および単位数と時間数			
科目	時間数	科目名	履修方法		時間数
			必修 (単位数)	選択 必修 (単位数)	
医学概論	30	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	2		30
心理学と心理的支援	30	心理学概論		2	30
		臨床心理学概論		2	30
社会学と社会システム	30	社会学概論	2		30
社会福祉の原理と政策	60	社会福祉概論（1）	2		30
		社会福祉概論（2）	2		30
地域福祉と包括的支援体制	60	地域福祉論（1）	2		30
		地域福祉論（2）	2		30
社会保障	60	社会保障論（1）	2		30
		社会保障論（2）	2		30
障害者福祉	30	障害者福祉論	2		30
権利擁護を支える法制度	30	権利擁護と成年後見	2		30
刑事司法と福祉	30	刑事司法と福祉	2		30
社会福祉調査の基礎	30	社会調査論	2		30
精神医学と精神医療	60	精神医学と精神医療（精神疾患とその治療）（1）	2		30
		精神医学と精神医療（精神疾患とその治療）（2）	2		30
現代の精神保健の課題と支援	60	現代の精神保健の課題と支援（1）	2		30
		現代の精神保健の課題と支援（2）	2		30
ソーシャルワークの基盤と専門識	30	ソーシャルワークの基盤と専門職（基礎）	2		30
精神保健福祉の原理	60	精神保健福祉の原理（1）	2		30
		精神保健福祉の原理（2）	2		30
ソーシャルワークの理論と方法	60	社会福祉援助技術論（1）	2		30
		社会福祉援助技術論（2）	2		30
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	60	ソーシャルワークの理論と方法（専門）（1）	2		30
		ソーシャルワークの理論と方法（専門）（2）	2		30
精神障害リハビリテーション論	30	精神障害リハビリテーション論	2		30
精神保健福祉制度論	30	精神保健福祉制度論（関係行政論）	2		30
ソーシャルワーク演習	30	ソーシャルワーク演習	1		30
ソーシャルワーク演習（専門）	90	ソーシャルワーク演習（専門）（1）	1		30
		ソーシャルワーク演習（専門）（2）	1		30
		ソーシャルワーク演習（専門）（3）	1		30
ソーシャルワーク実習指導	90	ソーシャルワーク実習指導（1）	1		30
		ソーシャルワーク実習指導（2）	1		30
		ソーシャルワーク実習指導（3）	1		30
ソーシャルワーク実習	210	ソーシャルワーク実習	3		210

金城学院大学履修規程

(2002年2月20日制定)

最終改正 2025年2月5日

(根拠)

第1条 この規程は、金城学院大学学則第13条に定めるところに従い、授業科目の履修方法を定める。

(授業科目の履修上の区分等)

第2条 共通教育科目を、履修上の区分として、基礎教育科目とキャリア教育科目に分ける。

2 専門教育科目を、履修上の区分として、共通科目、基礎科目、展開科目、演習科目、卒業論文及び資格関連科目に分ける。ただし、学科により、この区分が異なることがある。

3 学科により、専門教育科目に履修上のコースを置くことがある。

(共通教育科目の履修方法)

第3条 共通教育科目の卒業要件単位の修得方法は、履修要覧に示すとおりとする。

(専門教育科目の履修方法)

第4条 専門教育科目の卒業要件単位の修得方法は、履修要覧に示すとおりとする。

(自由履修)

第5条 自由履修とは、卒業要件総単位数と、共通教育科目及び専門教育科目における卒業要件上の必要最低修得単位数の合計との差を充足する履修形態をいう。

2 自由履修に充当できる単位は、次の各号にかかげる科目の単位とする。

(1) 共通教育科目において卒業要件上の必要最低修得単位数を超えて修得した単位

(2) 専門教育科目において卒業要件上の必要最低修得単位数を超えて修得した単位

(3) 各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等の単位

(4) 日本語科目及び日本事情に関する科目の単位

(各種資格に係る授業科目の履修方法)

第6条 各種資格取得のために必要な授業科目及び単位の修得方法は、当該資格課程を設置する学科が、当該取得資格の課程表において示すところによる。ただし、教員の免許状授与の所要資格を得るために必要な授業科目及び単位の修得方法は、金城学院大学（以下「本学」という。）が示す教職課程履修に係る教育課程表に基づく。

第7条 削除

2 削除

(履修者数による閉講)

第8条 閉講した授業科目でも、履修者数によっては閉講することがある。

(他学部他学科履修)

第9条 2年次以上の学生は、他の学部学科が開講する専門教育科目の授業科目を履修することができる。ただし、他学部他学科履修の対象外授業科目を除く。

(本学における履修とみなす学修の成果に係る外部の公的試験)

第10条 金城学院大学学則第16条の規定に基づき、本学における授業科目の履修とみなし単位を認定する大学以外の教育施設等における学修のうち、学修の成果を単位認定の対象とする外部の公的試験は、履修要覧に示すとおりとする。

(履修登録に関する基本原則)

第11条 履修登録とは、学生自身が履修すべき授業科目を別の定めにしたがって、履修登録期間に届け出る行為をいう。

2 履修未登録の授業科目は履修できない。また、履修登録の内容に誤りがあった授業科目に係る成績及び単位は認定されない。

3 履修登録期限後の履修登録内容の変更は、取り消しを含め原則としてこれを認めない。

(履修登録単位数の上限)

第12条 各学年において1年間に履修登録できる単位数の上限を原則49単位とする。ただし、実習・研修・体験等を主とした科目で別に定める科目は、履修上の上限単位に含めない。

2 2～4年次(薬学科は2～6年次)においては、次の各号に掲げる科目は、履修上の上限単位に含めない。

(1) 各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等

(2) 再履修科目

3 第1項、第2項の定めにかかわらず、学科の事情により、上限単位数及び履修上の上限単位に含めない科目を変更することがある。

4 編入学生・転学部転学科生に対しては、3年次以降の履修登録単位数の上限は設定しない。

5 各年度末におけるGPAが通算3.4以上の学生に対しては、翌年度の履修登録単位数の上限は設定しない。

(履修制限)

第13条 一部の授業科目については、その内容又は授業教室の都合等の理由により、履修者数を制限することがある。

2 あらかじめ特定の授業科目を修得していることを必要とする授業科目については、その特定授業科目が未履修の学生の履修を制限することがある。

(履修禁止授業科目)

第14条 共通教育科目及び各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等の一部の授業科目については、特定学科の学生の履修を認めないことがある。また、専門教育科目の一部の授業科目については、当該学科の事情により他の学部学科又は特定学科の学生の履修を認めないことがある。

2 開講が上級年次に配当されている授業科目の履修は、これを認めない。なお、他学科等と合同で開講される授業科目についての配当基準年次は、当該学生が所属する学科が配当した開講年次とする。

3 既修得授業科目の再履修を認めない。また、同一名称授業科目又は同一授業内容授業科目の重複履修を認めない。

4 同一名称授業科目が自学科で開講されている場合は、他学科開講の同一名称授業科目の履修を認めない。

(卒業要件上の履修付加条件)

第15条 生活環境学部食環境栄養学科を卒業するためには、管理栄養士受験資格を得るために必要な授業科目及び単位を修得することを原則とする。

2 人間科学部現代子ども教育学科を卒業するためには、幼稚園教諭一種免許状または小学校教諭一種免許状授与の所要資格を得るために必要な授業科目及び単位を修得することを原則とする。

(外国人留学生に関する履修方法の特例)

第16条 外国人留学生に関する履修方法の特例は次のとおりとする。

(1) 外国人留学生が修得した日本語科目の単位は、共通教育科目における英語教育科目又は外国語教育科目の単位とすることができる。

(2) 外国人留学生が修得した日本事情に関する科目の単位は、共通教育科目における教養科目の単位とすることができる。

(履修細則)

第17条 この規程に定めるもののほか、授業科目の履修方法に係る必要な事項は、これを別に定めることがある。

(規程の改廃)

第18条 この規程の改廃は、大学評議会の審議及び議決に基づき、これを行う。

附 則

この規程は、2002年4月1日から施行し、2002年度入学者から適用する。

省略

附 則 (2025年2月5日大学評議会)

この規程は、2026年4月1日から施行し、2026年度入学者から適用する。

卒業要件単位数 (履修要覧掲載)

国際英語学科

卒業要件			英米文化研究コース		英語研究コース	
			124		124	
共通教育科目			18		18	
必修	①金城アイデンティティ	キリスト教学(1)	2	12	2	12
		キリスト教学(2)	2		2	
		女性みらい	1		1	
		世界の中の日本	1		1	
	④情報	情報リテラシー	2		2	
	⑦キャリア開発	キャリア開発A	2		2	
		キャリア開発B	2		2	
選択必修	③言語(外国語)(1言語選択)		4	6	4	6
	共通教育科目①～⑩(必修科目・③の履修科目を除く)から		2		2	
専門教育科目			106		106	
基礎科目	必修		10	10	10	10
	選択必修		-		-	
基幹科目	必修		28	28	28	28
	選択必修		-		-	
展開科目	必修(コース必修)		8	60	8	60
	選択必修(コース選択必修)		8		8	
	選択必修		44		44	
演習科目	必修		8	8	8	8
	選択必修		-		-	
自由履修			-		-	

総合歴史学科

卒業要件			124	
共通教育科目			18	
必修	①金城アイデンティティ	キリスト教学(1)	2	16
		キリスト教学(2)	2	
		女性みらい	1	
		世界の中の日本	1	
	②言語(英語)	英語コミュニケーションA	1	
		英語コミュニケーションB	1	
		英語コミュニケーションC	1	
		英語コミュニケーションD	1	
	④情報	情報リテラシー	2	
⑦キャリア開発	キャリア開発A	2		
	キャリア開発B	2		
共通教育科目①～⑩(必修科目を除く)から		2	2	
専門教育科目			96	
基礎科目		必修	12	12
		選択必修	-	
基幹科目	地域史研究科目群	必修	-	40
		選択必修	18	
	プロジェクト科目群	必修	-	
		選択必修	2	
	実践教養科目群	必修	2	
		選択必修	4	
資格関連科目群	必修	-		
	選択必修	14		
展開科目	史料講読科目群	必修	-	36
		選択必修	10	
	総合歴史研究科目群	必修	-	
演習科目	必修		8	8
	選択必修		-	
自由履修			10	

情報デザイン学科

卒業要件			124	
共通教育科目			18	
必修	①金城アイデンティティ	キリスト教学(1)	2	16
		キリスト教学(2)	2	
		女性みらい	1	
		世界の中の日本	1	
	②言語 (英語)	英語コミュニケーションA	1	
		英語コミュニケーションB	1	
		英語コミュニケーションC	1	
		英語コミュニケーションD	1	
	④情報	情報リテラシー	2	
	⑦キャリア開発	キャリア開発A	2	
キャリア開発B		2		
選択必修	共通教育科目①～⑩ (必修科目を除く) から		2	2
専門教育科目			92	
学科基礎科目	必修	10	10	
情報工学	必修	14	46	
	選択必修	32		
社会ソリューション	必修	6	16	
	選択必修	10		
演習科目	必修	4	4	
プロジェクト科目	必修	4	12	
	選択必修	8		
卒業論文・卒業制作・卒業PJ	必修	4	4	
自由履修			14	

金城学院大学学位規程

(1991年7月1日制定)

最終改正 2026年 月 日

(根拠)

第1条 この規程は、金城学院大学学則第53条に基づき、学位に関して必要な事項を定める。

(学位に付記する名称)

第2条 学士の学位に付記する名称は、学部学科ごとに次のとおりとする。

文学部	日本語日本文化学科 学士 (日本語日本文化学)
	国際英語学科 学士 (国際英語学)
	総合歴史学科 学士 (歴史学)
	音楽芸術学科 学士 (音楽芸術学)
経営学部	経営学科 学士 (経営学)
人間科学部	現代子ども教育学科 学士 (人間科学)
	多元心理学科 学士 (人間科学)
デザイン工学部	建築デザイン学科 学士 (デザイン工学)
	情報デザイン学科 学士 (情報デザイン学)
生活環境学部	食環境栄養学科 学士 (生活環境学)
看護学部	看護学科 学士 (看護学)
薬学部	薬学科 学士 (薬学)

(学位記の様式)

第3条 学位記は、別記のとおりとする。

(規程の改廃)

第4条 この規程の改廃は、各学部教授会及び大学評議会の審議に基づき、常任理事会の議決を経てこれを行う。

附 則

この規程は、1991年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、1995年10月30日から施行する。

附 則

この規程は、2000年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、文学部の1997年度までの国文学科入学者及び1996年度までの社会学科入学者における学士の学位に付記する名称については、従前の規程を適用し、次のとおりとする。

文学部	国文学科	学士 (国文学)
	社会学科	学士 (社会学)

附 則

この規程は、2002年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2003年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、2001年度までの文学部日本文学科、英文学科、家政学部家政学科、生活経営学科及び児童学科入学者における学士の学位に付記する名称は、従前の規定を適用し、次のとおりとする。

文学部	日本文学科	学士（日本文学）
	英文学科	学士（英文学）
家政学部	家政学科	学士（家政学）
	生活経営学科	学士（生活経営学）
	児童学科	学士（児童学）

附 則（2005年4月25日常任理事会）

この規程は、2005年4月25日から施行する。

附 則（2009年3月9日常任理事会）

この規程は、2009年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、2008年度までの文学部言語文化学科及び人間科学部芸術表現療法学科入学者における学士の学位に付記する名称については、従前の規程を適用し、次のとおりとする。

文学部	言語文化学科	学士（言語文化学）
人間科学部	芸術表現療法学科	学士（人間科学）

附 則（2010年3月8日常任理事会）

この規程は、2010年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、2009年度までの生活環境学部生活環境情報学科及び現代文化学部福祉社会学科入学者における学士の学位に付記する名称については、従前の規程を適用し、次のとおりとする。

生活環境学部	生活環境情報学科	学士（生活環境学）
現代文化学部	福祉社会学科	学士（福祉社会学）

附 則（2011年2月14日常任理事会）

この規程は、2011年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、2010年度までの人間科学部心理学科社会心理学専攻及び人間科学部心理学科臨床心理学専攻入学者における学士の学位に付記する名称については、従前の規程を適用し、次のとおりとする。

人間科学部	心理学科社会心理学専攻	学士（人間科学）
人間科学部	心理学科臨床心理学専攻	学士（人間科学）

附 則（2012年3月5日常任理事会）

この規程は、2012年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、2011年度までの現代文化学部国際社会学科、情報文化学科及びコミュニティ福祉学科入学者における学士の学位に付記する名称については、従前の規程を適用し、次のとおりとする。

現代文化学部	国際社会学科	学士（国際社会学）
	情報文化学科	学士（情報文化学）
	コミュニティ福祉学科	学士（福祉社会学）

附 則（2013年2月18日常任理事会）

この規程は、2013年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、2012年度までの人間科学部芸術・芸術療法学科入学者における学士の学位に付記する名称については、従前の規程を適用し、次のとおりとする。

人間科学部 芸術・芸術療法学科 学士（人間科学）

附 則（2018年12月17日常任理事会）

この規程は、2019年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、2018年度までの人間科学部現代子ども学科入学者における学士の学位に付記する名称については、従前の規程を適用し、次のとおりとする。

人間科学部 現代子ども学科 学士（人間科学）

附 則（2022年2月14日常任理事会）

この規程は、2022年4月1日から施行する。

附 則（2026年 年 日常任理事会）

この規程は、2026年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、2025年度までの文学部英語英米文化学科、外国語コミュニケーション学科、生活環境学部生活マネジメント学科、環境デザイン学科、国際情報学部国際情報学科及び人間科学部コミュニティ福祉学科入学者における学士の学位に付記する名称については、従前の規程を適用し、次のとおりとする。

文学部 英語英米文化学科 学士（英語英米文化学）

外国語コミュニケーション学科 学士（外国語コミュニケーション学）

生活環境学部 生活マネジメント学科 学士（生活環境学）

環境デザイン学科 学士（生活環境学）

国際情報学部 国際情報学科 学士（国際情報学）

人間科学部 コミュニティ福祉学科 学士（コミュニティ福祉学）

別記

金城学院大学学位規程_別表（doc）②

金城学院大学学位規程_別表（pdf）①